京城日報

十一日夕刊（朝夕刊併せて六頁）

本紙定價　廣告料金　發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社　印刷人 小川三之助

●敵講和新提議說

獨逸ターゲス ツアイツング紙は最も信憑す可き說なりとして報道して曰く獨墺兩國は近く講和に關し新提議を爲すことに意見一致せり該提議の形式は不明なるも其の基礎條件は一、各交戰國の領土撤退すること二、獨逸は白耳義及び北部佛蘭西より撤退すること三、獨逸は東部方面にて領土を併合せざること四、交戰國は互に償金を支拂はざることゝいふに在るもの如しと（倫敦電報）

●希望實現何れの日

獨逸帝國議會に於て議員ゴタインシ氏は一場の演說を試みたるが演說中獨軍は陸戰にては果して協商國を屈服せしめ得るや否やを問ひし他の議員等も擧いて發言し終に幾多の活劇を演ずるに至れり是れ獨逸國民の政治的感情極度に亢奮しつゝあるを示すものなり社會黨員ランツベルグ氏は提言して曰く吾等は祖國を愛するの餘り此の祖國を喪ふの危險を冒してまでもクールランド若くはローレンを獲んことを庶幾はず講和條件は獨逸如何に強くとも一つの味方を有せずして全世界に對し講和條件を命ずること能はざるべし我が幾分の希望にして實現せらるべき日は容易に來らず常に延期せらるゝこと宛然債權者が約束を履行する能はざるが如しと（アムステルダム電報）

●露聯立內閣組織

露國にて今回新たに聯立內閣組織されたり其の顏觸れは社會黨員六名、民主黨員並に中產階級代表者十一名より成り社會黨よりはケレンスキー氏を首相及び大元帥に任じ民主黨及び中產階級よりはテレスチエンコ氏を外相にウエルコフスキー將軍を陸相にウエルデレウスキ提督を海相に任命したり（紐育電報）

●鐵道從業者增額

露國政府は鐵道從業者の要求を容れ賃金增額を許可したり之れが爲め年額七億五千萬留の支出を要する事となれり政府は又鐵道從業員に對し特別給與をなし先づ食料品を供給すべしと（紐育電報）

●兩艦隊獨艇追擊

目下日米兩國艦隊は南洋に於て一隻の獨潛航艇を追擊中なり（紐育電報）

●濠雨を冒して活動

ヘーグ將軍の公報に曰く八日は豪雨烈しかりしも英軍は終日豪雨を冒し敵味方の砲兵はハープル戰線にて活動せり（倫敦電報）

●驅逐艇建造準備

米國政府は八個月間に竣工の豫定にて水雷驅逐艇を建造せん爲め三億五千萬弗を支出すべく目下其準備中なり（紐育電報）

●支那觀兵式擧行

馮大總統は段國務總理以下閣員全部を伴ひ十日南苑に臨み第一、二、十三師の大觀兵式を擧行せり尙此の日張勳征討司令官たりし段芝貴氏が勳一位に曹錕氏を陸軍大將に陞進せしめ其他四百名に位、勳章を授けたり（北京特電）

●外債五億

本邦にて發行せる大藏省の調査に依れば十月一日現在に於て本邦に發行せる外國公債は總額五億六千萬圓餘にして其內譯は英國一億五百萬圓、佛國七千七百萬圓、露國三億七千九百萬圓餘、支那五百萬圓等なりと（東京特電）

●西園寺侯入洛

西園寺公望侯は十日夜入洛當分別邸に滯在す（京都電報）

●總督出發

長谷川總督は武官、副官、秘書官、通譯官等を隨へ既記の如く十一日午前八時三十分南大門驛發普通列車に搭乘南鮮地方視察の途に就けり今回は大邱、慶州、浦項等を經て扶餘附近に於ける四十旅團の演習を視察し歸途群山扶餘其の他を經て來る中旬過ぎ歸京の豫定なり

●漁業船舶改規

漁業に從事する船舶に關する規則中改正の件は十月十二日附府令を以て布令の事となれり改正の要點は從來朝鮮にかける傳染病が多く內地より來往する漁船によりて齎らさるゝの弊實に鑑み之が豫防取締方法として不開港地に出入したる船舶に對し警務部長に於て豫防上必要ありと認め最初の寄港地を指定したる場合には指定以外の地に寄港するを得ざることとせるに在り

●露貨激落

百圓對五百八十留

露貨は其後益々低落を續け十日長春より鮮銀入電は百圓對五百四十留を報じゐたるが十一日は五百八十留に激落せる旨の來電あり尤も外國市場の相場は左程低落せざるに付世界的の相場とは云ひ能はざるべく多分爲替決濟不能上より來れる現象なるべしと

●總監午餐會

山縣政務總監は十一日午後零時三十分より入京中なる山本達雄氏一行を朝鮮ホテルに招待午餐會を開けり、當日は一行の外牧山代議士、美濃部鮮銀總裁、國分司法部長官、鈴木度支部長官、小原農商工部長官、川上東拓理事、久保滿鐵理事、遠藤秘書官等も列席したり

●「赤毛布揃の漫遊さ」

山本政友會總務一行の車中談

十一日の午前六時五十五分記者は水原驛で北行の鮮滿直通列車に乘り込んだ、蓋し支那視察の途にある吾が政界の立者政友會總務▲山本達雄氏 一行を迎へんためである、給仕に聞くと、一行は皆まだお寢み中です、しかしコレから起しませうと云ふ、仕方がないから姑らく待事にする、そこに同行の前代議士長島鷲太郎氏が太い眼を光らし乍らやつて來る十分も話してゐるとボーイが、山本さんは今からコーヒーを飲つて見へるさうですと告げて行く、長島氏も食堂車の方に移る、氣がつくと列車は始興驛を過ぎ永登浦に近まつた、今は山本氏の御來座を待つて居れぬ、乃ち前出の食堂車に後を追ふ、そこに落ち着ゐた顏はドッシリした身體の持主、曾て日本銀行總裁たり、大藏大臣たり▲農商務大臣 たりし山本達雄氏は燒パンを嚙り乍ら控へてゐた、恰度山本氏は京城出發後平壤に下車すべしと說き、長島氏小阪氏等は通過說を主張してゐる、長島氏は『怎うしても通過說贊成の方が多數ですよ、それに大して見る所もありますまい』と云ふ、記者が橫合から『でも平壤は此の事業も三四目星しいのが起り、一寸景頗る明媚です』と口を出した、山本氏は『見給へ、かうした同意者もある』明媚な風景と史蹟上の豐かな價値、それ丈けで降りて見る値ひは十分だよ……話しは鳥渡決定らぬ、何でも總務はこゝにも此處にも寄りたいと云ひ、長島氏等は支那を主眼とするから滿鮮はズン〳〵過ぎたいと希望してゐるらしい、仁川にも總務は行く筈だと語り、外の諸氏は仁川の必要はないと別々に話してゐる、『僕等と吾々の各地視察上の意見は極端と極端だ、マア之れで中庸を得ると云ふ者だ』と小阪前代議士は笑ふ、總務は記者に語る、支那本土への旅行ですか、▲滿洲朝鮮 視察……イヤ視察と云へば六ケしく聞ゆるが唯見て廻るので、何でもない赤毛布揃ひの漫遊さ、滿洲及び支那の本土は一行誰れも初めてだ、唯僕に歐洲の往來に上海に寄つた位に過ぎない、これから東洋の問題は支那だ、そこで吾々も遲蒔ながら支那を覗やうと云ふのさ、吾輩は卅年前釜山に於て日本郵船の支店長をして居た、其後初めての渡鮮で十日は同港を視察したが、歲月の永かりしだけ釜山市勢の著しい推移變遷には只管呆れるの外はなかつた、當時八百の日本人は今日七千戶三萬人に殖へてゐる、市街の如き全く舊時の面目はドコにもない、予の微かな記憶の跡は何のたよりにもならない、唯國亡びて山河ありとでも云ふか龍頭山の松翠、東萊附近の地勢、海雲臺對岸の眺望の如きは、往年と多く異なる所なき自然の姿を今も殘してゐる、其當時の舊知同地の元老大池忠助、追間房太郎、福田增兵衞三氏と▲久方振り に會談し得たのは予に往年の消へかゝつた記憶を喚び起さすに十分であつた、當時京城にも足を入れた、釜山から仁川まで船路の旅を續け仁川より騎馬で京城に乘込んだものじや、何でも早朝仁川を出發つて日の暮れ〴〵に京城に入つた樣に思ふ、仁川では鈴木充美君が領事をして居た京城には二泊しかせなんだので全くすべての事が頭を去つてゐる、何さま街は頗るゴタ〳〵してゐた……話してゐる內に列車は漢江を通る、鐵橋二人道橋一合せて三本の橫はつた長橋を觀望しつゝ、成程立派だ、當時は小さい船で渡つたものだがな、と稍感慨の體である、沿線山野の狀態は殆んど內地と異ならぬ、稻大豆粟かう云つた農作物が全く內地通りで、海を渡つて新領土に來たと云ふ感じは頗る薄い、朝鮮開拓の進步は實に著しいものだ、同行の▲長島前代議士 は曰く朝鮮に就ては隨分之まで色々の事を聞てゐたが、やつて來たのは初めてだ、來て見ると豫想よりも著しく開けてゐる、鐵道の如き誠に立派で內地線は顏色なしだ、此の鐵道は世界一週道路として、將來滿鐵線並に米國でやると云ふ噂のあるアラスカ線山線と優劣を爭ふやうになるだらうか、外客誘引上より云ふと朝鮮線の優位、立事を希望させるを得ん、邦人の支那視察は近來仲々流行る、政友會の小川君二十日も近くやつて來る、又東京商業會議所よりも實業家の團體が行くさうだ

□山本前藏相一行の入京　向つて左より政友會總務山本達雄氏、同會前代議士長島鷲太郎氏、同小阪順造氏（十一日朝南大門驛にて）

●中村都督來期

關東都督中村雄二郞男は愈々十六日午後七時三十分南大門驛着列車にて入京の事に確定せり、男は同夜京城に一泊十七日午後七時五十分南大門驛發列車にて內地に向け出發の筈なり

●齋藤少將來期

北京日本公使館附武官齋藤少將は十一日北京出發內地への歸途十二日夜入京の旨其の筋に電報ありたり

●市川參謀長出張

軍司令部參謀長市川堅太郞少將は副官古城大尉を帶同し步兵第三十九旅團秋季演習視察の爲め十四日龍山出發開城地方に向ひ更に十六日以後步兵第四十旅團秋期演習及び同幹部演習視察の爲め滿州地方へ出張し本月二十六日頃歸任の豫定なりと

●國分長官東上

司法部長官國分三亥氏は往復二十八日間の豫定を以て東京市へ出張を命ぜられたり氏は二十四五日頃出發の筈なり

●司直官出張

左の諸氏は今回二十九日より司法省に開催の司法官會議に參列し司法事務を打合せ且つ東京所在裁判所等の同事務を視察の爲め東京に出張を命ぜられたり

高等法院長	渡邊暢
京城覆審法院長	城數馬
大邱覆審法院檢事長	膳鉦次郞
平壤覆審法院檢事長	松寺竹雄
大邱地方法院長	柳澤佐五郞
光州地方法院檢事正	秋塲格太郞
海州地方法院長	佐々木源之進
光州地方法院長	淺田賢助
大邱地方法院檢事正	杉村逸樓

●留學生公使館を襲ふ

支那留學生一千名は石井遣米特派大使の米國に於ける演說中支那に對する侮辱の言ありと做し章駐日公使の之を默過するは不都合なりと譴り十日夜支那公使館を襲擊せり（東京電報）

●山本氏一行著

滯京中の動靜

政友會總務山本達雄氏同會前代議士長島鷲太郞、同小阪順造氏の一行は十一日午前七時五十分南大門驛着鮮滿直通列車にて入京美濃部鮮銀總裁川上東拓久保滿鐵兩理事、南野三井店長牧山代議士阿部本社長其他の出迎ひを受け直に朝鮮ホテルに入れり、尙一行は自動車を驅つて午前中總督府に山縣政務總監を訪問敬意を表し後普通學校を參觀し直ちに龍山に到り東拓の苗圃、鮮銀の果樹園其他を視察し東拓より午餐の饗應を受け午後は美術品陳列館、景福宮を參觀、午後六時半より官民有志の朝鮮ホテルに於る歡迎會に臨みしが十二日は午前淑明女學校、中央試驗所、昌德宮に赴き正午朝鮮ホテルに於ける山縣政務總監の午餐會に列し午後は東亞煙草會社、淸涼里パコダ公園を巡覽韓相龍氏邸の晚餐會に臨むべく十三日午後零時三十五分南大門驛發列車にて下仁同夜歸京十四日午前九時十分發平壤に向ふべしと

●日置公使退京

入京中なりし日置公使は內藤久寬氏と共に十一日午前九時南大門驛發列車にて退京北行したり

●立花師團長消息

北鮮各部隊檢閱並に地理實查の爲め去月二十四日出發したる立花第十九師團長一行は既に元山咸興羅南各駐屯部隊の檢閱を了し十日淸津發會寧に向ひ十二日より同地方部隊の秋期演習を視察し更に同月二十日より會寧地方に於て擧行すべき陣地攻防演習を視察し二十七日頃歸任する豫定なりと

●軍經理部員更迭

軍司令部經理部員二等主計正八道彌七氏は去る八日附を以て第六師團經理部長に補せられ豐橋第十五師團經理部員二等主計正武田毅九氏其後任に補せられたり倘ほ八道氏は來る十五六日頃龍山出發任地に赴くべき豫定、又武田氏は本月下旬着任の豫定なりと

●久保局長張宴

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は就任披露の爲め十二日午後六時三十分より朝鮮ホテルに京龍官民の主なるもの三百餘名を招待し更に十三日午後六時三十分より花月に京城新聞通信及び雜誌社の代表者並に管理局出入記者を招待すべしと

●野田氏等來期遲る

代議士野田卯太郞氏紡績界の先進和田豐治氏日比谷平左衞門氏一行は本月上旬朝鮮紡績の要務を帶び來鮮の筈なりしも水害のため和田氏の社長たる富士製紙の如きは非常の損害を蒙りし事情あり旁々其の來鮮遲延し居る次第にて未だ時日は決定せずと

●小川代議士來鮮

政友會領袖小川平吉氏は十日東京驛發十二日午後九時南大門驛着多分京城は通過にて奉天經由支那の觀察を試むべしと

●入澤部長出張

入澤京畿道第一部長は山內屬記を隨へ利川、楊平、驪州、安城、龍仁、振威の六郡管內に於ける面制施行後の地方狀況視察の爲め往復七日間の豫定にて十日京城を出發せり

人事消息

▲京城女子高等普通學校職員生徒六十三名　十日午後水原より歸校
▲安博士　十日午後仁川より歸京
▲東京子氏（總督府技師）　十日午後入京
▲黑田忠兵中尉（准陽分隊長）　十日午後入京山本旅館へ
▲京城高等普通學校職員生徒九十名　十一日午前水原へ
▲都賀武彌氏（講習會員）　十一日午後開城へ
▲內藤右油會社長　十一日午前平壤へ
▲岡本至德氏（咸興地方法院檢事正）　十一日午前元山へ
▲酒井三郞氏（京城郵便局工務課長）　東上中のところ十日夜歸任
▲谷村鯛尙氏（京城神社宮司）　歸省中の所十二日朝歸京の筈
▲大島瀧一氏　土木局技師　咸鏡南北道管內へ出張を命ぜらる
▲本間孝義氏（土木局技師）　黃海道管內へ出張を命ぜらる
▲齋藤義夫氏（總督副官）　大邱、慶州、群山、論山、公州、淸州、扶餘、各地總督隨行を命ぜらる
▲神田純一氏（總督秘書官）　同上
▲平井三男氏（事務官課長）　開城へ
▲管田勇氏（農業試出張所技師）　京城及び朱安へ
▲八島朗氏（京城土木出張所技師）　淮川、洪川、橫城、原州各郡へ
▲岡本常次郞氏（北鮮日報社長）　十一日夜入京浦尾へ投宿の筈
▲樋口虎三氏（群山電氣社長）　十一日退京
▲岡村左右松氏（朝鮮製絲重役）　十二日朝入京巴城館へ投宿の筈
▲屋路東亞煙草朝鮮總販賣所長　十二日より七日間の豫定を以て滿州地方に出張の筈

□講談休載　講談『左甚五郞』本日休載す

百圓が百萬圓になる

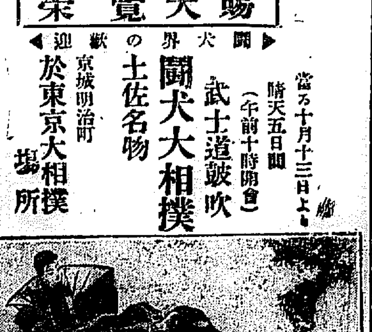
▲貯金研究社長高柳淳之助氏は諸君の知らるゝ如く紙一文より僅十年間に五十万の富を作つた人であるが、其成功の餘りに早き爲め反つて一部の人よりは疑ひの眼を以て見らるゝを慨し、東京各新聞に廣告して市內有識者の來會を求め東京□番俱樂部に於て半日の長講演を試み、以て同氏が金錢利殖の秘訣を公開した。玆に於て同氏が常に云ふ所の金錢といふものは少しの頭の働かし樣次第で意外にふえるものだといふ事も了解され、今まで一種の山師とも見られた同氏は初めて東京有識者間に認めらるゝに至つた。此講話は實に熱誠を極めたもので、又頗る有益なる講演なりしを以て今その速記錄を金錢利殖法の極意と名づけて發行す。▲高柳社長の講演は郵便貯金、保險、債券、株券、貸金、貸家、土地等の特殊なる性質を利用し其安全互(?)の運用に依つて少くとも年二割乃至年十割以上に資金を利殖するの秘訣を詳說したものである。此方法によると僅かに百圓の資金あれば年二割として五十年目に九十一万餘圓となる事が出來る。尤も世上には隨分タマラぬ誇大の廣告を以て販賣するものもあるが、本書は前記の如く講演會の速記錄である。多數有識者の面前でマヤカシ演說など出來る筈はないではないか、本書の有益なる事推して知るべきである。一冊送料共金五拾四錢 發行所は東京本郷五丁目四十六番地の金剛堂書店、振替は東京三六〇二〇番、代金郵券代用一割増本書は…

釜山亞硫加里工場製品
鹽酸　曹達灰
芒硝　洗曹達
發賣元 福榮商會 釜山辨天町

代理店及駐在員採用
勸業債券販賣
代理店及駐在員を採用す望の者は郵券封入履歷書送付あれ
神戶市中道通り六丁目學校前
小田切債券部
電話本局五九八番　振替大阪百三九六四番

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二の六 電三〇七七
京城パイン萬年筆出張所

賜天覽榮
鬪犬界の歡迎
土佐名物
鬪犬大相撲
武士道鼓吹
當る十月十三日より晴天五日間（午前十時開會）
場所 於東京大相撲 京城明治町
勸進元 西田嘉三



自働車開通
土城 碧瀾渡・延安・靑丹 海州線 自働車開通
當分の間土城、碧瀾渡間は馬車を以て代用
上下共南大門驛午前九時十分發午後七時三十分着南急行列車に接續致候
詳細は電話九六五番へ御照會被下度候

皮膚科外科專門
扇田醫院
太平通二丁目（電話二三五八番）
內科小兒科一般診察
（內科外科午前。皮膚科午後夜間診察）

醫化學器械
北島藥店 仁川本町
北島藥店京城支店 京城本町永樂町角 電話七六一番

(K)
藥種賣藥卸商

秋空を切つて 自動車風の如く

京城水原間の新道七十哩を往復するの記

三好生

■華山龍珠寺は李朝歴代の王族中最も英邁の聞え高かつた正宗大王が建立されたもので、開山以來百三十餘年になるといふ。堂宇伽藍は然まで古色を帯びてはゐないが、無佛社長や関大槻さんや金澤さんが話されたこのお寺の縁起を辿つて行つてそれを結び合せてみると茲に一つの哀れにも美しい物語りが出來上る。

■それは斯うである。正宗王の父君の悲慘の御最期……玉が不慮の禍に遭つたといふことは宗王にとつては天地が永久に闇くなつてしまつた程の悲しみであつた。父王の墓がこゝに祭られてからといふものは正宗王の心は片時も離れた事はなかつた。雪の降りる華山の森、嵐吹き荒る夕、蟲の音などには必らず側近の者を遣はして墓の守りをさせたものである。王自身も屢々寺を訪れて展墓されたことは言ふまでもない。父母の恩といふことは王の心の總てを支配してゐた。都が此處に遷されたのもこれがためであつたらう。

■僅かの面積ながら、そこ此處の美しい花畠に季節の花が咲き亂れて、綺麗に掃き清められてある寺の境内を歩きながら、物靜かにかういふ話を聽くといふことは、いかにも心ものいゝことであつた。赤無佛社長のお話しによるとこの寺には『父母恩重經』といふ石經がある、勿論、正宗大王が遺されたもの、石經はこの外に慶尚南道の安養郡の靈覺寺にも華嚴經があるが、これは千年も前のもので磨滅して文字などは跡をとゞめないがこゝのは未だ鮮明で頗る珍重すべきものだといふ

■今日の水原附近の風景が朝鮮には珍しいのも、華山の森林が昔しのまゝに林相を變へずに居るのも、昔正宗王の孝心に由るものだといふ。それから楽大蓮和尚の案内で寺内を一巡したのち、和尚が夕飯を差上げたいからといふのを辭して、寺を出ようとすると、前に迎へてくれた小坊主達が見送りのために整列してゐる『皆さん勉強して大寺僧になるように──』といふ無佛居士の言葉をあとに龍珠寺に別れを告げたのは六時頃。

■門前近くに迎へに來て居た自動車に乘つて水原の町を離れる頃にはとつぷり日が暮れた。眞闇になつた道を吼へながら飛ぶ狼のやうに車が駛つてる時、横合から颯と吹き起つた突風が金さんの中折帽子を飛ばしてしまつた。『アツと驚いた金さんの消魂しい聲を聞きつけて運轉手臺に居た関さんが車を停めさせた。

■金さんが先づ飛び降りて闇の中を手探りに尋ねて歩く。無い、豆畑に降りて探す、見當らぬ。皆も降りて探す、見當らぬ。畑の中に舞ひ込んだらうといふ事になり、引返へさうとすると、無佛社長が自動車のヘッドライトで照してはどうだといふ。成程それがいゝと車を廻して見ると道端に轉つてゐた。その瞬間の金さんの喜び、いかなる聲を揚げたか、何ういふ恰好をして帽子の傍へ走つて行つたか。それを詳しく記す事は金さんの名譽のために姑らく預つておかう。闇を衝いて自動車は漢江橋近へ來ると橋の上は疎かに灯が水に映つてゐた(をはり)

文樂一座の初日

◆靜と錣と古靱と

■久し振りで文樂一座が來た眞目は確かに加はつて來たので流石に好人氣、館内外の華やかな装飾も何處となく浄瑠璃趣味が漂ふて居る。初日の夜に入つたもの、眼を瞑つて聽いて居ると……尻太夫の太功記夕顔棚の中途から聽く、若手ながら聲に艶もあり、確乎したもの、い○太夫の忠臣藏三段目、未だ若いだけに幼稚な所もあるが少しもダレが見せぬのは本場修行の價値だ……

■明石太夫の白石揚屋、少しくセキ込むやうに聽き取れる筋もあれど宮城野その他の人形は無難、おのぶは姉妹と名乘つてから味によし、サワリは宮城野の氣分が見ゐた、靜太夫の辨慶上使、從來耳馴染のある太夫だけに面白く聽いたが何處迄も重々しく行かねばならぬ辨慶と嬉しさ悲しさが交々胸に迫るおわさの心持を分けて語つたは感服した『其時のお稚兒さんかいな(拍手起る)』『今一度物を云ふてたもいのう』以下情緒纏綿、申分無し、今取分けて思ひ知る以下味に來と息が合つて手に汗を握らした、今一と息と思ふ所もあつたが總じて周到な語り方……

■錣太夫の伊勢音頭油屋、斯う云ふものを語つては流石に手に入つたもの、眼を瞑つて聽いてゐるうちに人形の活躍させ、遊女屋の氣分なぞれだけ見せるのは錣か確かに名人の域に近づきつゝある……萬野の性格については錣が不年苦心の跡が見ゐる、萬野を斬つた切那、貢が血を見て凄い顏……

■古靱太夫の沼津、僕は沼津だと思ふ……三味線は清一、八造……吉彌に至つては立派なもので……古靱は堂に入つたのである……揃つた一座を聽く事は珍らしい……(キ)

●綿ネル成金の投身自殺

大阪市東區北久寶寺町綿ネル問屋南爲太郎(五二)は大阪第一流の綿ネル問屋にて數十萬圓を儲け出だせるが先月の綿布相場激落の影響を受け忽ち六十萬圓ばかり損失せるを苦に痛み此程濟寺の月を觀るとて同地に赴き海岸より投身、その儘人事不省に陷りしを折柄出漁中の漁夫に救助され目下靜養中なるが是綿布界の第一犠牲者と云ふべし(大阪特電)

●本夫殺しは死刑

慶北奉化郡物野面鴨洞里慶劉觀會(三六)は江原道旌善郡新東面禮美里居住中本年舊正月より同里金應五妻金姓女(三二)と慇懃を通じ其の結果應五の知る所となりたるより共謀して應五を殺して終はんと圖り五月十二日夜金姓女は應五に酒を侑めて醉臥させ觀會は小刀を持ち來りて應五の咽喉部を突き刺して即死せしめたるが兩名共檢擧され此の程京城地方法院の公判に附せられ田中裁判長水野檢事の係りにて十日兩名共死刑の判決を受たり

●讃岐丸 神戸に入港

英佛海峽にて獨逸潜航艇を撃沈したる郵船會社汽船讃岐丸は十日午後神戸に入港したり(神戸電報)

◉無門會例會 無門會十月例會は來る十三日午後四時より京城商業會議所樓上にて開催し後藤瑞巖老師の禪海一瀾の提唱あり參聽隨意なりと

◉スタール博士 スタール博士は十一日朝關釜連絡船新羅丸にて著釜午前十時三十分發列車にて京城に向へり博士は内金剛に入り三週間滯在前調査に引續き調査を遂ぐる豫定なりと前橋通譯隨行し居れり(釜山特電)

●又も關西に暴風雨

水災避難地の惨狀=艀船の粉碎

十日夜より大阪地方に暴風雨襲來となり艀船を粉碎せるあり奈良にも亦被害ありしもの〻如く電信電話不通の場所を生じたり(大阪電報)

……水災避難地は惨狀を極め避難小屋、天幕等は皆吹き飛ばされ市内建物の倒壞も尠なからず十一日に至りて復舊し風雨又歇みたり又神戸沿岸は十日夜怒濤狂瀾の見舞ふ處……

▲高松地方被害 高松地方に於ても亦暴風雨被害多し(高松電報)

●珊瑚船四十隻難破

鹿兒島、宮崎地方に襲來せる暴風雨は頗る猛烈を極め手打港沖にて作業中の珊瑚採集船四十隻吹き飛ばされたり(鹿兒島電報)

◉五高出身懇親會 十日は五高等學校創立記念日に付在京城同校出身者は同日午後六時千代本に於て懇親會を開きたるが出席者十數名頗る盛會なりき

◉鑛山技師入用 高等工業冶金科出身在鮮金屬鑛山に數年實地經驗ある志操堅實にして四十歳迄の強健者を雇入相當保證人又は紹介者を要す委細面談地方應募者は履歴書送られたし 京城大和町一丁目 北鮮鑛業所出張店

◉妙心寺婦人會 臨濟宗妙心寺別院にては十二日午後一時より花園婦人會の例會あり

灯とも頃

▲今度金剛山を探勝して來た福岡の書伯水野疎梅翁は奬忠壇の甘泉亭に寄寓して居るが▲金剛山の雄大な奇勝を賞して金剛山は一言にして盡せば鍛抜怒張とでも言ふか餘程強い筆でなくては眞面目を躍如たらしむる事は出來ないが▲筆鋒の軟かい南畫に大いに工夫を凝らして雄渾剛壯の景色を遺憾なく寫して今度の探勝を空しくせないと言つてゐる▲翁は今から七年前支那に遊んで故揚守敬に就いて書道を學び其の序でに長江を遡つて蜀に入り三峽の勝を探つた事もあつたが▲今度金剛山に遊んで兩地の絶勝を比較して胸中の畫を豐かならしめた事であらう▲人も知る如く揚守敬は日本に遊び日下部鳴鶴、巖谷一六なども此の人に就て始めて六朝風の門戸を伺つたので今日六朝書風の隆盛を來した基を開いた一人であるが▲疎梅翁は此の書道の大家に親炙して研究を極めた上に詩畫を宜くすると言ふから三拍子揃つた人である▲今度京城に來たのを機會に朝鮮の儒者と往十里の安靜山の也足軒にて一夕の雅會を催したと云ふが滯留中は揮毫の需にも應ずるさうだが容貌から一種世間と風が違つた一奇人である

水野疎梅翁

天氣豫報(十一日午後六時から十二日午後六時迄)

晴れ一時曇り

●暴風雨警報解除(十月十一日午前十時發) 慶尚南北道沿岸の警戒を解く

商況

債券現物特電

公債直取引

深川正米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪期米特電

下關期米特電

[illegible]

雜報

◉綿糸布氣弱し 大阪三品は昨日一段と下向き今朝は米棉四十五錢高を報じたるに崩落氣配は却つて軟……先限二百四十

●染料弗々動く 輸入染料は在荷次第に減少し本邦製品之れに代りて需要漸増しつゝあるが……

◉揮發油値上 ……更に五十錢方の値上……

◉精白氣締まる 一二十錢高の十錢唱へ……二十四圓七

●古米に比し三十錢内外下位

●新米望人薄

◉精米筋の買急ぎ物現はれては結局賣人の呼値迄釣上

●方ゝ羅上り一般に約三十錢

●錢安の唱ひ氣配一二十

◉正米小强じ 人氣は値に鮮白……

九圓九十錢 綿布三銘八圓二十錢 何れも小安

南大門の廻漕

釜山穀物(十日)

仁川期米

▲十一日前場 大阪天候晴天 三錢高の入電 昨止 大阪 五十九錢

大阪四節 先四十一錢こ臨 時暴落入電

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

市場雜聞

▲保合下澁る

◉買占派の買潮切 存外下澁

◉今筋の買潮切

店より買た玉數約二萬石に上り

▲正米の近況

新米は存外望人少

▲正米の直も茲數日の間

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 仁川海岸町

仁川米豆取引所 十一日の十二月限

演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八番 △喜劇連鎖劇 ▲一番目喜劇……▲二番目……

稲荷座 本町五丁目

浪花館 京城明治町 電話二六〇 京の三遊亭圓左大一座來る

壽館 京城本町 電話一〇五〇 ▲實演……▲御所櫻……

有樂館 ……

大正館 櫻井町 電話八七三 ……『遠州秋葉山中の場』……

黄金館 電話二六七・二六六 十月十二日より……

法人登記公告

延安地方金融組合登記事項中變更……延安出張所

明治町二丁目 周易 介石堂 岡村介石

出張所開設 藥栗 平壤 池田商會平壤出張所 京城南大門前電話七九五番 池田商會 振替二四七番

萬年筆 スワロウ印 二円五十錢ヨリ八円迄

自宅職業 日收一圓 特約店募集 大阪北區福島中五丁目 一葉會本店

米期 曾我商店

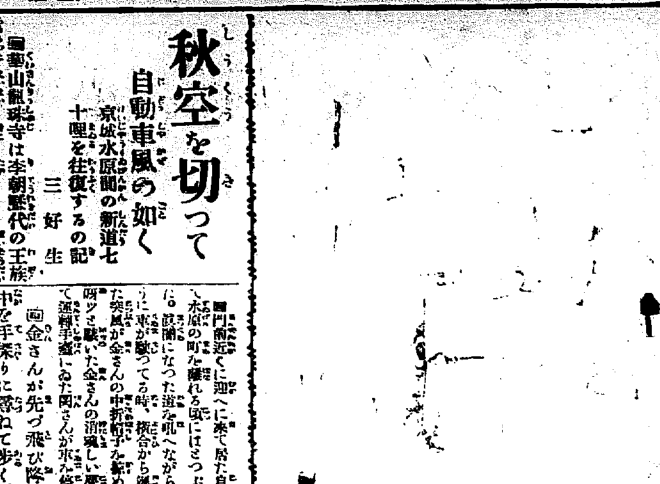
むしぶろ

冷卸發賣 釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎

新荷著 京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎

懐中時計 本店京城本町二丁目 電話九七二番 イングレツシー商會

直治水 盲目に杖!! 目に直治水!! スグに効ある目藥!! ○眼科高貴新藥を配伍す ○タツク一瓶にて効驗現はる ○根不的に視力を強くす 國外の眼藥で効なき人試よ 主效 ○トラホーム ○はやりめ ○かすみめ ○やにめ ○うみめ ○めくさ ◎其他眼病諸症に特効あり 本舗 大阪・東京 丹平商會藥房



京城日報
十二日朝刊（朝夕刊併せて六頁）
本紙定價 一ヶ月金一圓五十錢 廣告料 發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話（編輯）二四五番 （營業）一六一番 振替貯金口座京城三〇〇番
發行兼編輯人 小川三之介 印刷人 奥□□

京城日報 植民地の民政

近日我南島に新行政組織を布くや、世人之を目して民政と爲し、近頃南洋諸島の我占領地にも民政を行ふべしと稱ふるものあり、今日民政なる語大流行の折柄、甚く植民地施政機關の改正を見て直ちに彼是相混淆して其是非を議するものあるは甚だ笑ふべきなり。

一般に使用する所の民政即ちデモクラシーなる語は官治に對して用ふるものにして、自治制又は民衆政治を意味し、植民地の民政たる語は專ら軍政に對して之を用ふ。戰爭に依りて征服し又は兵力を行使するの必要ある場合に於て植民地の施政機關は同時に軍政機關たらざるべからず、然れども軍政機關は尋常行政事務を行ふに便ならざる點なきにあらざる爲めに、軍政機關の下に民政機關を置く場合甚だ多く、又軍政機關と民政機關とを併立せしむるも亦これ有り。乃ち植民地の民政とは其地の尋常行政組織を指して云ふものに外ならずして俗に文官を長官と爲すものを指して民政と言ふは此外形を見て云ふものに外ならず。

然りと雖も植民地新領土の經營者が軍人たると文官たるとは亦相關係せずして軍人固より能く民政を行ふべし。ボーター將軍を爲政者とする英領南阿弗利加は立憲自治植民地也、又埃及はクロマー卿の嚴格主義の後を承けてサー、エルドン、ゴルスト氏の寬容主義を施行して大失敗を招き、埃及人民放縱收拾すべからざるの狀を呈するや英國政府はキチナー元帥を擧げて埃及統監と爲し、大に其弊を矯め キチナー元帥本國に還りて陸軍大臣となるに際して元帥の參謀陸軍大佐マクマホン氏を擢て埃及統監たらしむ。初め千九百十四年春印度に厄介問題頻發するや、英國政府はキチナー元帥を埃及より移して印度太守たらしむるの意ありたれども偶ま歐羅巴の風雲甚だ急なるあり、元帥を引いて本國の陸軍大臣たらしむるに至りたれども、當時若此事なからしめば元帥は印度太守たりしや論なし、而して軍人にして太守たり、統監たりとも之を指して軍政なりといふの理由はなく、其軍政と曰ひ民政と曰ひ官治と曰ひ自治と曰ふは畢竟其土地其人民其時其場合に依りて定まり其事に當るものが軍人たると文官たるとはこれと相關渉することなし。

英吉利は本來自由自治を喜びデモクラシーを以て其本領と爲すの國なり、而して猶ほ近年連りに軍人を擧げて植民地長官たらしむるは何の爲ぞ、蓋し已を得ざるの理由ありて存する爲めなり、第一には印度埃及等尋常行務の外に重大なる軍政ありて存し、文官を以て民政長官と爲ときは之と對立し若くは之を踰越する所の軍政機關を置かざるべからず、然れども軍組織は往々にして相齟齬扞格するを免る能はず、往年カーゾン卿印度太守たりし際キチナー元帥印度軍司令官として軍政を掌り、兩者の間に大衝突を起し英本國當局者をして處理に苦ましめたることあり、是れより後寧ろ軍人を長官と爲し一種の厄介を除くべしと爲すの論行はる、第二に新領土植民地を治むる爲政者其人の威望實力に待つこと甚だ大なり、英吉利政府の好んで軍人を擧ぐるの趣旨亦自ら此に存す、其の軍人を擧ぐるの故を以て民政を排するものにあらざるや言を俟たざるなり。

世界の實勢と國民の覺醒（八）

（於朝鮮教育研究會主催講演會）

文學博士 建部遯吾氏講演

是に於て濠洲にも人口減衰調査委員會が設置されたのであるが、幹事長のピユールは調査研究の結果人種衰退と云ふ一大論文を公にした、勿論之に依つて一般大に刺戟された譯であるが、合衆國のルーズベルトは之を評して、最近百年間に於ける幾多の著述中最も必讀の價値を有するものは本書なりと同國アウトルック誌上に言ふて居る、勿論其の好む所に偏するの嫌を脱しないが、斯の如くにして人口減衰問題は今や社會問題中の重要問題となりつゝあるのである。文明諸國に在りては出生率は漸減の傾向を表はして居るが、併し文明諸國には、水道有り、下水有り其の他一般衛生設備が整つて居る關係よりして、人口增加率漸減の兆あるに拘らず、年々人口の增加する率は左程に減らないのであるが、少しづゝは減る。此の現象が激しくなると即ち人口減衰問題を惹起する。佛蘭西の如きは第十九世紀の千八百三十年代より既に此の現象を表はし、英吉利は千八百七十年代より、獨逸は千八百九十年代より、そろ〳〵之を始め出した。獨逸の識者等は大に之を憂慮しつゝあつた譯であるが、之に反し我が日本は段々と增加率が上りつゝある。併し唯文明國として誇しいのは、死亡率が一向下らぬ點であつて、之は實に日本の一つの特色而かも決して誇るに足らざる特色と言ふ可きである。第二の人種問題、第三の植民問題は之を省略し、第四の平和問題に就いて一言を費やさうと思ふ

申す迄も無く近頃の歐洲戰爭は隨分大規模に行はれて居る。倫敦の空中に獨逸飛行機が現はれて爆彈を投じたり、潛航艇が偉い働を爲て居るかと思へば、一面兵隊は塹壕内で美味しい御馳走を頂いてピヤノで騒つたりして居るとの事もある。之では戰爭は慘澹たるものであるか、呑氣なものであるか一寸判斷に迷ふが、何れ戰爭と云ふからには悽慘の極に達するものだらうと遙かに想像して居る樣な次第である。併し戰爭は悽慘の極であると云ふ事は斷じて今日に始まつた事では無い。そこで戰爭と云ふが如きは人間として不名譽極まる事であるから、早く廢めねばならんと云ふ運動が、所謂平和論者から起つて來た。尤も斯かる運動は隨分古くからあつたのであるが、輓近の事柄としては千八百三十五年英吉利に於ける品行方正なる人々の組織せし宗教團體の一派から之が唱道されたのである。即ち萬國平和協會是れであるが、今や其の會員世界を通じて四五百萬に達し千八百八十九年以來每年若くは隔年に大會を開き、世界各地から代表者が出ると云ふ譯で、萬國平和協會の幹事局は瑞西のベルンに設置されて居る。

登金剛第一關　水野錬梅

劍拔怒張千仞山。萬杉[illegible]作兩峰出。白雲飢自溪中起。身在金剛第一關。

又

奇巖千仞大玄黄。雲作衣裳月作肩。石女吹笙雨紫烟。仙娃煮石捧瑤[illegible]。出沒虎豹窟隣[illegible]。瀑大雷吼震幢[illegible]。路破金剛關第一。直看造物出神奇。

九龍瀑

寒山人跡絶。不遲瑞雲[illegible]。萬壑三千丈。九霄降自天。

支那漫遊

蘇峯生

瀋陽の秋色

九月廿六日午後は、城內の支那街を經て、宮殿見物に赴き候。門外には張作霖の兵隊、三々伍々立ち並び、門內には又た一、二、三、四の掛聲勇ましく調練致居候。宮殿は意外にも、掃除行き届き居候得共、肝腎の寶器は、袁爺の爲めに北京に運び去られ、今は空き殼の脫殼に候。四庫の一たる文溯閣抔も、只だ建物のみ殘りて、書物は一卷もなし。予は溯る十二年前の塵埃滿々裡の、內容豐富時代を懸しく候。

予は今ま、曾て滿朝歷代の聖容を奉安したる、鳳凰樓の傑閣の上より、奉天全市、及び其の附近を眺望して、夕陽無限好。唯是近黄昏。の感なき能はず。

白塔亭亭掃碧空。高粱滿地戰金風。乾坤寥廓淸如許。人在瀋陽秋色中。

白塔とは延壽寺の西塔を云ふ。甎塔にて、白く塗り、而して其の甎面には、巨大なる唐獅子を浮き彫にし、亦た見る可きものあり。黄寺を訪ひ、蒙古僧の大喇嘛に會見す。漸く商量して、佛殿の扉を開き候。予は豫て此處には滿文金泥、蒙古文紅字、西藏文黑字の一切經ありと聞きしが、宛も佛壇の側に、若干是れあるを見出し、之を拔き見んことを求めたるに、主僧は首を掉りて、商僧者智識にあらざる限りは、之を許さずと應せざりき。往時露軍占領の際、是等の經文を亂暴にも、庭縁に代用したりと云へば、主僧の之に懲りて膾を吹きしも、所由なしとせず候。（大正九年九月廿七日朝 奉天にて）

誰（92）

布施生譯

一實は一昨日でした、此處の温泉から歸つた人があつて、ト八から[illegible]侯爵と云ふ人があるが御親戚かいと聞かれましてね、[illegible]實は貴方はあの時丁度[illegible]のと思つて[illegible]居つたものですから、[illegible]いた時の喫驚と謂つたら[illegible]つて君は私の聞かつた事は知てゐる筈[illegible]しまいましてはてな、[illegible]あの手紙の令嬢ね、あれが[illegible]てくれた筈だがね』利介は不本意らしい顏をしながら『いゝえ知らせてはくれませんでしたよ』數敏は之を聞くと瞰しい顏をした。『さうか知らせなかつたな、何か、お陰で君は三十年來の親を死んだものと思つて嘆いてくれたらう、父樣も或は其儘にお逝去になつたのかも知れないな、思へば殘念な事をした』『ですが私はあ貴方何故手紙を下さらなかつたのです』『手紙は書いたとも、何度も書いたが返事が無かつたのぢややつと來たと思ふと父樣は逝去になつて君は行衛不明と云ふ心細い消息でな』數敏は暫時首を傾けてゐたが聽て思返して『可いや、昔の事はさうでも可い、そんな事よりは前途の希望だ、なあ利介、君にはまだ未來があるぞ、いや時に忘れた、君はまだ夕飯前だらう、腹が空いたらうに長話で氣のつかない事をした、いやさ良い酒があつたんだよ』數敏は呼鈴を鳴らして食事を命じた、程なく出來たのは巴里第一流の料理屋も及ばぬ程の御馳走であつた。

食事も濟むと數敏は又談話を續けて『時に邸はどうしたね』利介はどう返事をしやうかと暫時考へた後『邸は賣りましたよ』『邸を賣つたか、あゝ無理もない、私が一厘の仕送もしなかつたからなあ、しかしあの邸だけは人手に渡すのが何だか惜しいやうな氣がするよ、彼處に居た時分が一生で一番面白い時だつたなあ』利介は之を聞くと晴やかな顏貌になつた、さては兄は委しい事情は何にも知らないんだ、さうと極まれば何も心配する事は無い、翌日利介は巴里に待詫びてる輔太郎に宛て、『安心せよ』と電報を打つた。

▲大阪前場五節二十三圓三十八錢六節四[illegible]の入電ありたるのみにて各地相場未だ發表なき[illegible]當二十圓七十五等中間先十九圓二十六錢と同時に寄付き七錢、跌れ五錢と辷りて[illegible]かす遞箇焦け付きの儘二十五錢と[illegible]

▲保合岐れ如何 [illegible]

▲滿州小麥十一圓四十錢にて出來たり

十二日[illegible]

八環臺

樂寺駐蹕可依八面秋水。消高僧寺跡人近滄溟島求。半盧飛觀山城伯肚下鐵[illegible]。

十月十三日より三日間 撞球競技大會 會費五十錢 改元三十錢 賞品 一等より十等迄 特別賞一等より十等迄 京城南大門通五丁目 御成倶樂部

東京齒科醫學專門學校 ▲校外生募集（規則郵券二錢）東京市神田區三崎町

ほとゝぎす 改卷號出來 定價一部二十七錢・郵税一錢 東京牛込船河原町 ホトトギス社
◎京都で會つた漱石氏…虛子
◎こんな俳句を作つたらいかゞ…虛子

堅牢創立明治二十八年 時計及蓄音器御商 喜多金光堂 京城黃金町二丁目 電話一〇一五・替振京城七八二

書畫之研究（拾月號）院展號 出來 發賣元 京華堂

製造元とのやくそくで 割の安い品そろいの 砂糖、麥粉、茸、金巾、燐寸、石油、洋燭、醬釜、瓦、乾物、鑵詰、ビール、サイダ、ー、葡萄酒、清酒、醤油、染粉、足袋、其他内地人向雜貨食料品 大おしろ店 仁川本町 河野本店

朝鮮總督府通譯官 西村眞太郎著 朝鮮語會話 第四版

東京藥學校講師執筆 東京藥學講義錄 京城日報社代理部 取次所 大阪屋號、嚴松堂、京日各支局

京城名物 栗饅頭 藥 橘屋菓子舗 京城南山町二、電話六九三番

模範中學講義錄 自宅で中學卒業の資格を得せしむる代表的講義錄 內容豐富斬新進歩せる現代の要求に適す 毎月二回五日廿日發行 一ヶ月六十錢 入會の好機 奬學金 贈呈 大特典 川合教授、岡村博士 見本 東京神田區三崎町三丁目 大日本模範中學會

淸水の日本六法全書 模範新形 東京市神田區今川小路 淸水書店

最新刊 心學 人の道 陸軍大將男爵 神尾光臣閣下題字 貴族院議員 杉田定一閣下題字 孤峰學人新著 圖 苦き藥 笑話 修身處世 比喩 例話 落語的 本書 傑作 現代語 新作 身邊 特價 金壹圓拾錢 東京神田今川小路 忠誠堂

唐氏 參議院召集反對

雲南督軍唐繼堯氏は臨時參議院召集に反對し非常國會を正當と認むるの電報を國務院に發せり（北京特電）

段祺瑞を討伐せん

廣西軍の先鋒隊は今や永州に到着し尙續々出動の模樣あり陸榮廷、陳炳焜、譚浩明、唐繼堯氏等は參議院召集に反對し馮國璋氏を除き段祺瑞氏のみを彈劾すべく討伐宣言を爲さん（廣東特電）

衡山北方戰別報

湖南よりの通報に依れば衡山の北方に於て南軍と會戰せしは第八師第四十五旅長王汝勤氏にて六日開戰し七日南軍は退却せり双方の死者十數名なりと（漢口特電）

南北兩軍の衝突

七日二十師の一個聯隊は北軍と衝突したるが南軍は死傷三百餘名を出せり北軍の死傷者は不明なり（漢口特電）

レーニン一派追放か

急激派社會黨首領レーニン氏は依然單獨講和の奔走中にて彼等は獨軍がリガ方面なるウエンデン南方高地に據れる露軍に對し砲撃中なる旨を報じ甚だしきは露軍が敗走してプスコフ方面に退きつゝある由を吹聽し居れり政府は近くレーニン一派に對し國外追放を斷行するならん（露都電報）

露鐵道罷業終熄

全露鐵道同盟罷業は政府の讓歩にて調停交渉成立し十日より露都發西伯利亞行き急行列車は定規の通り運轉を開始することゝ成れり但し部分的には今尙罷業行はれつゝあり（露都電報）

管船令實施打合

田遞相は十一日午後一時より内田戰時船舶管理局長官を首め同局評議員を召集し船舶管理令實施方針に關し打合せを爲したり（東京特電）

石井特使微恙

歸朝期未定

遣米特使石井菊次郎子は十三日桑港解纜の汽船にて歸朝の筈なりしも風邪に冒され入院中にて出發期未定の旨外務省へ電報ありたり（東京特電）

王子製紙總會

朝鮮製紙株引受

王子製紙會社にては十一日午後一時より臨時總會を開き設計計畫中の朝鮮製紙會社總株式十萬株の内七萬株を引受くること及び王子製紙會社取締役は朝鮮製紙會社の重役を兼ぬることを認許する件を可決せり（東京特電）

濟生會長等西下

濟生會々長德川家達公同醫務主管北里醫學博士の一行は十一日朝門司通過關岡へ向ひたるが一行は二週日餘に亙り長崎、熊本、別府地方を巡視する筈（門司特電）

總督大邱視察

長谷川總督は武官、副官、秘書官、通譯官等を隨へ南鮮巡視の途次十一日午後四時五分著列車にて大邱に來著、直に自動車を驅せて上町なる慶北物產陳列館に至り約一時間に亘り場内の陳列品に就きて精細なる視察を遂げたる後再び自動車を驅せ唯屋旅館に投宿せり（大邱特電）

（京畿）恩賜金決算

大正五年度京畿道臨時恩賜金歲入出決算を聞くに左の如し

▲歲入 一金三十四萬三千零三十三圓豫算額、一金三十四萬三千三十二圓五十六錢決算額

▲歲出 一金三十四萬三千零三十三圓豫算額、一金二十七萬七千零二十一圓七十四錢決算額、歲入出差引殘金六萬六千六百九十圓八十二錢なりと

客月京城貿易

物價騰貴と入超

客月中に於ける京城貿易に就き稅關出張所の調査に依れば

▲輸移出合計 十六萬七千四百八十二圓一月以降累計百三十二萬一千七百二十五圓にして輸移入合計百六十二萬七千六百十圓一月以降輸移入品價累計一千三百十五萬三千九百四十八圓を算せり今之を前月分に對比せば輸移出品價に於て二萬八千九百一圓の增移入計に於て一萬七千五百六十圓の減を見たるが更に之を前年同期の貿易額に比較するに移輸出部計に於て九萬一千三百二十一圓の[illegible]

▲入計に於て 三十[illegible]千七百三十九圓の增加[illegible]第となる、而して客[illegible]輸移出品の主なるもの[illegible]の七萬八百餘圓を筆頭とし煙草の二萬一千七百餘圓重石鑛の二萬百餘圓大豆の四千五百餘圓にして牛皮煙草の如きは前年同期に對比せば著しき減少を示せるも之を前月に比較せば牛皮の三萬七千餘圓煙草の二千餘圓を增加せる情勢に在り

▲輸移入品に 於ては生金巾及び生シーチングの十四萬九千七百餘圓毛織物の九萬七千五百餘圓日本木綿六萬六千七百餘圓綿絲三萬四千八百圓餘洋紙二萬九千六百餘圓天竺布二萬一千百餘圓晒金巾及び晒シーチング一萬九千五百餘圓を其の優なるものとし生金巾シーチングの如きは前月に對比する時は實に七萬七千六百餘圓の增加を見前年同期に對比しても尙三萬四千餘圓の增加を示し其他毛織物洋紙日本木綿等孰れも前月及び前年同期に

▲未だ見ざる 增加を表はせり之れ一面物價大暴騰に基因する所尠からざると共に一方其の數量に於ても增加を示せるものゝ如く斯かる情勢より昨今京城貿易額は著るしき出入の差額を發見し約百五十萬圓の入超を示し居れり

輕鐵開業期

來る十一月一日より

鮮輕便鐵道株式會社第一期工事第一工區たる大邱河陽間輕便鐵道敷設工事は十五哩中既に八哩を完成し殘餘七哩は遲くも來る二十日までに完成の豫定にて此他未成工事は僅かに琴湖江橋梁外二箇所及び大邱線構內のホームの外土工手直し等微細なる部分に過ぎず停車場工事は來る二十八日までに必ず竣成せしむる筈なりと而して汽罐車及び客車等は全部釜山滿鐵工場より何時にても取寄せ得べきを以て豫期の如く愈々十一月一日より大邱河陽間に於ける客車運轉を爲し營業開始の筈なりと（大邱）

運賃引下要望

日本郵船、大阪商船、尼崎汽船、互光商會の各社は船價騰貴の爲め釜山阪神間の穀物運賃を百石に付從來の九十圓を百八十圓に値上し本月一日より實行し居れるが當業者は現時の狀況斯く高率の運賃を仕拂ふに堪へずと釜山商業會議所を介して運賃値上率を從來の五割增即ち百三十圓に低減せられん事を各汽船會社に要望せり（釜山）

品評會出品點數

本月二十七日より三十日迄總督府に於て開催さるべき朝鮮釀造品品評會に京城府內より出品すべく目下申込濟のものは酒二十點、醬油十五點、味噌五點合計四十點なりと

葉煙乾燥資金

漢湖農銀忠州支店にては忠州地方に於ける葉煙乾燥資金として約十萬圓の貸出しを最近に行なひたるが葉煙栽培面積の增加に伴ない昨年より餘程增加し居れる由

大田聯隊出發

大田步兵第七十九聯隊本部及び同聯隊第三、四中隊は十日朝屯營を發し沃川方面を經て途中野外教練を行ひ演習地清州方面へ向け出發せり（大田）

山本氏歡迎會

入京中の政友會總務山本達雄前代議士長島鷲太郎小阪順造三氏の官民合同に成る歡迎會は十一日午後七時より朝鮮ホテルに開會したり會する者宇佐美鈴木松永各長官關屋學務局長美濃部鮮銀總裁川上東拓理事其他四十餘名にて席上發起人を代表して松永道長官の歡迎の辭あり右に對し山本達雄氏は起つて大要左の挨拶を述べたり

予は夙に朝鮮滿洲支那本土視察の意ありしも果さゞりき然るに今回小閑を得長島小阪兩氏と共に漫遊の途に就きしが三人共殆んど何等の定まりたる目的を有せず唯出來得る限り各地に於て其の事情を多く視察し多く耳にし以て見聞を廣めんとするのみ然も此の單なる漫遊者に對し如斯賑やかなる歡迎會を開催されしは感謝に堪へず玆に深厚の謝意を表すると共に尙一兩日滯在各方面の視察を行ふに付何卒出來得る丈けの御便宜を與へられん事を望む

右終つて宇佐美長官の主唱にて一同盃を擧げ三氏の健康を祝し更に主客歡談の後十時頃散會したり

山成臺銀理事

臺灣銀行理事山成喬六氏は遠く北京に向ひ交通銀行對興銀、鮮銀、臺銀間の借款二千萬圓の調印を了し東京への歸途十一日午後七時三十分南大門驛著折柄山本氏歡迎會を中座して停車場に待受けゐたる美濃部鮮銀總裁と會談同五十分發南行したり

巡査教習生修業式

十一日午前十時より警官練習所に於て第二十四期巡査教習生六十名外鮮人警部四名、判任官警部補十六名の修業式を擧行したり開式に先だち教練及び擊劍及び柔道仕合あり其より式を開き卒業證書を授與せし後ち松井所長の報告、生徒總代の式辭、警務總長代理前田大佐の訓示、生徒總代の答辭あり式を終りたるは午後零時なりし其れより茶菓の饗應及び記念撮影ありて退散したり因みに當日の來賓は國分京畿道警務部長、總監部各課長、京城市內各署長其他高等官なりし

製鋼所設置披露

既報の如く仁川に於ける朝鮮製鋼所設置に關し設立者林金五郎氏は九日午後六時より仁川官民有志五十餘名を八坂樓に招き披露の宴を催ふせり（仁川）

韓氏邸晩餐會

漢城銀行專務韓相龍氏は十二日午後六時三十分より入京中なる山本達雄氏一行を主賓とし小原農商工部長官、鈴木度支部長官、松永京畿道長官、三島同理事、美濃部鮮銀總裁、川上東拓理事其他を寬洞の自邸に招待晩餐會を催すべしと

入京 去京

▲田中唯一郎氏（日清生命保險取締役） 十二日夜入京

▲宮川鐵氏（漢湖農工銀行支配人） 十二日朝出發湖南線方面へ出張

▲熊本利平氏（群山農業家） 十一日入京

▲廣瀬安太郎氏（東京實業家） 十一日夜入京

▲西田常三郎氏（元山毎日新聞社長） 同上

百聞百種

英國にも婦人團が出來た▲之れは露國の娘子軍などとは違つて大分眞面目なものである▲軍團と云へば戰爭へでも出掛け相に聞ゆるが此の軍團は婦人陸軍補助軍團と云つて出來る限り兵士を多數戰線に立たしめたいと云ふのが目的である▲即ち戰線に於ては後方勤務の或もの內國に於ては各聯隊附經理部、醫部勤務の或ものに婦人を使用する▲年齡は內國勤務十八歲以上、外勤務は廿歲以上で軍團の監督官も婦人である▲全く婦人の獨立した軍事行動であつて此結果に付ては多大を期待されて居る▲規律ある英國婦人の仕事としては頗る適當な軍事行動であらうとの評判▲日本の御婦人連も斯う云ふ點へは能く御注意を願つて置きたい▲之からの戰爭は男子許りの戰爭では御座らぬからナア

湖南の問題（三）

民間側の希望と鐵道當局

和田監理課長談

夫れは兎も角、明年は三十臺許りの機關車を購入する事になつて居り、貨車も亦之れに相應した數を得る筈であるから之等が備はつた曉には運輸は餘程樂になる。何分鐵價昂騰の爲機關車など從來の三倍以上の價格を唱へてゐる有樣で此の際機關車を造るといふ豫算の關係上甚だ困るのではあるが何時まで待てば値が下るか判らぬものを當てにして居る譯にも行かず、一方では朝鮮內の輸送に困却するのみで無く滿洲からの貨物も一日三車より送らぬ事に制限するといふ樣な始末だから

▲豫算の有丈 を出して前記の數を註文した次第である。之れが都合よく明年の出穀期迄に間に合ふならば船の方とも連絡を取つて是非とも輸送を圓滑ならしめ度いものと考へてゐる。尤も今年でも之を前年に比較すれば約一萬噸の輸送力を增し、船の方に於ても亦相當に廻つて來る豫定であるが、殊に釜山は一萬噸以上の收容力を持つ倉庫を新設したので、其の他の民間倉庫や野積の數量を併せば四萬噸位の收容力は備はつた譯であるから

▲去年程當惑 はせぬ積りだが、扨て今年は去年に比して何れ程の貨物が出て來るかは問題である。夫れから鐵道運賃の比較が取れて居無い爲め荷物は釜山に廻つて停滯するといふ說もあるが之は誤解であつて今では海運の高いため他の海港の荷物も自然釜山に廻送されるものが多く、他の開港に持つて行つても再び釜山に逆送される狀況である、釜山行の鐵道便が安價に過ぎて支障を生ずるといふ樣な時代となれば其の節には或る程度の改正を行ふも惡くはあるまいが、今の處では問題とはならぬ樣に思ふ。されば迚といつて船運賃との

▲權衡を保持 さすことゝなれば鐵道の運賃は二倍にも三倍にも引き上げなくてはならぬ、値上げをすれば荷物が運べるが左樣でなければ輸送が出來ぬといふやうな場合でも起れば格別、政府の計算で以て經營して居る鐵道としては、單に自己の利益又は一部の人の都合のみで之を左右することは出來ぬと思ふ。却說鐵道では愈々理事も極まつて纏りが付いたのは結構である、當方では

▲朝鮮の鐵道 は能く判つてゐるけれども滿洲の方は判つて居なかつたが久保氏の樣な事實上滿鐵の重要事務を脊負つて立つて居た人が理事に來て呉れたことは滿鐵との連絡を取る上に於ては非常に好都合といはねばならぬ、又た滿鐵の方でも朝鮮の事情が判らない爲め當方の重な人を希望したのも無理からぬ事で今度の異動は双方甚だ好都合であるのみならず此方に來た久保氏の如きは至つて圓滿な中にも思ひ切つた意見を持つて居る人であるから大に手腕を揮はれる事と思ふ（完）

（全）全州

▲全電の點燈期 本年内には是非共點燈の運に至る[illegible]豫算を更訂して入札に附すべき乎[illegible]との關係に關し審議中なるも基礎[illegible]

[illegible]一隻は過般の大風に遭ひ長崎縣の[illegible]

[illegible]社にては去る十日株式總會開催の筈なりしが其後內外の事情に依[illegible]

[illegible]する講演を爲せり

▲井上部長出發 道長官は十月十日より十九日迄管內巡視及び郡參事諮問會臨席[illegible]七なりと

●大田聯隊移轉期 大田 十聯隊第三大隊移轉し來るべしと（大田）

●連絡船上陸者 十日午前[illegible]

健胃消化劑

食後のゴルフ

胃腸を强健にし頭腦を明晰にす

定價 二十錢 四十錢 一圓

全國藥店にあり

ゴルフは有名なる消化新藥「タカヂアスターゼ」を主藥とし之に胃腸に有効なる三共株式會社の新藥及び人間生存上缺く事の出來ぬ石灰分も含むで居りますから胃腸病の外身體虛弱の人にも卓効あり、

主治効能 胃腸病一切、胃脚氣、營養不良、虛弱の人、貧血。一日の藥價タツタ二錢

東京室町三丁目
泰昌製藥株式會社

スワン萬年筆

壹圓八拾錢以上拾貳圓迄

萬年筆に種々あり善惡可否被類知るべし
獨歩的信用を有するスワンを撰し給ふべし

スワン萬年筆は獨歩的信用を有す

全國到る處の文房具店にあり

目録送呈

萬年筆用スワンインキ 定價三十錢

スワン萬年筆製作所
本店 東京市淺草區今戸町
東京支店 同 日本橋區馬喰町一丁目
大阪支店 大阪市東區平野町二丁目

興國の新機運は遂に此新なる週刊を產出せり

毎週土曜日發行

政治・文藝・教育・科學・家庭

「週」は社會の重大な出來事と其一般的趨勢を明晰に報道すると共に常に正しい意見を構成し同時に各人に向つて豐富なる精神的慰藉を與ふるものである。

編輯顧問 文學博士 澤柳政太郎
主幹 文學士 水島耕一郎

■五つの特色がある

1. 雜誌と新聞紙の長所を兼ねる 「週」の報道は雜誌よりも遙に機敏新鮮である。又「週」は日刊の如く各種の事實を雜然と陳列しない。即其記事は精選批判せられてゐる。

2. 文章が平易簡明である 「週」は現代に於て最も一般的なる言文一致體の極く分り易い文章を用ゐる。

3. 調子が高くして而も興味が深い 同一の事實も見方に依つては或は趣味多く或は無趣味である。「週」は徒らな感興的讀物の外に政治經濟の硬い記事をも成るべく讀んで面白からしめる方針である。

4. 讀むと同時に見る 「週」は各種の出來事を文字に綴つて報道するのみならず、其重大なものは毎號之を寫眞にとつて讀者の眼前に提供する。即ち「週」の讀者は事件を讀むと同時に見るのである。

5. 編輯法の一大特色 「週」は其幹部に最も卓越した記者編輯者を有すると共に社外にも多數の當代一流の特約寄稿家をもつてゐる。けれ共「週」は原則として是等の人の筆に成つた論文或は記事には一々其名を現さない。なぜなら「週」は「週」として記事全體の責任を負擔するから。

●九月廿九（土曜）日發行創刊第一號（主要目次）
△週の七日 △週報 △副總裁久保田男 △大戰 △阪を狙た持兇器强盜（畵） △好劇家として…松波仁一郎 △社說…露西亞を救ふ… △霞ヶ關の人物…早川鐵冶 △所謂支那出兵…艦船管… △時事畵報 △子供の齒 △理想…國防の充實… △新思想の歸趨 △財界 △教育會議…學制問題 △現代文明の危險と其運命 △獨逸來襲…青島將軍 △銀盤（上篇）…花袋

●十月六（土曜）日發行第二號（主要目次）
△週の七日 △週報 △近づける文展 △大戰 △カイゼルの隱し藝（畵） △兩博士の子供の話 △社說…支那の小變化…傍 △時事畵報 △嵐 △碎花 △關西と兩政黨…船舶令の… △颱風の話 △財界 △權威…審政民政の別…又 △戰ひと苦悶の代表者 △獨逸來襲…青島將軍 △して統一…選擧法改正 △銀盤（中篇）…花袋 △案…香氣なる諸問 △喜ぶ可き傾向

最も意義ある生活法

現代の生活は目まぐるしい程多忙である、讀書する暇のある者は極めて少い。けれども何人も一週に一日或は半日位の餘暇はあるであらうし、又あらねばならない。此時徐ろに「週」を閲して、平生の雜駁なる知識を訂正し、其記憶を整理するのは、最も有益な方法である。且又各人の頭腦には大凡そ働くべき限度がある。故に毎週一回「週」を讀んで精神的滋養を攝取するのは確に現代人にとつて愉快ある生活の一樣式である。

創刊號を增刷し初號よりの申込に應ず

一部拾錢（三ヶ月分十二册壹圓拾錢半年分廿六册貳圓八拾錢一年分五十二册四圓 郵稅本社負擔但し支那を除く海外は一部につき四錢宛申受く）

振替東京三一五二〇番 電話本局五四三五番
東京市神田區錦町三丁目四番地
「週」發行所 週報社

…じも豫定額を超過し更に再入札に附するも目下の經濟界にては如何かと顧念し直營となすか將た又た…

…社は圖らずも我に内地を發送せしの成らざる等より推すれば本年内…

…電柱登載の帆船は船長交替の爲めには點燈變更なからんと…一隻は門司に滯泊し既に發航せる

…會延期　既報の如く全州電氣株式…公會堂に於て飛行機並に軍事に關…

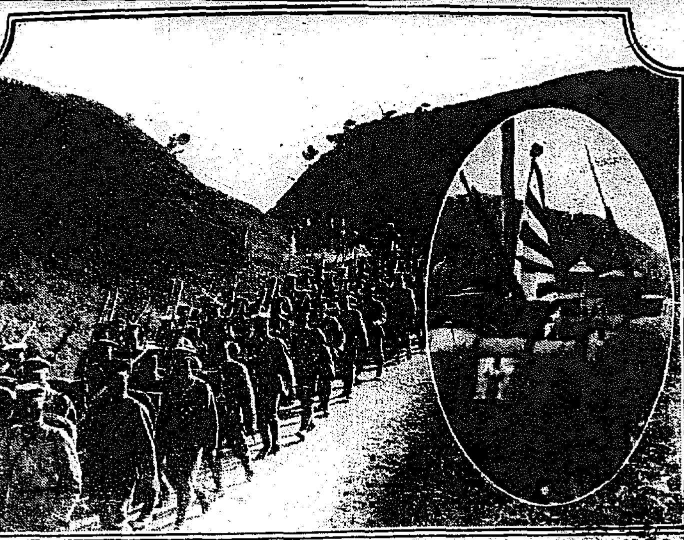
◆工藤長官巡視　工藤平南[illegible]…午後五時…の郵船にて赴任の途に就きたるが見送盛んなりし

◆博物館觀覽者數　九月中に於ける博物館觀覽人員は總計二千二百六十八人にして前月に比し四十倍名の增加を見たり其の內譯は普通券內地人九〇七、朝鮮人一…六、外國人八三、特別券內地人五五、朝鮮人四…

…新兵…移轉すべく校舍は不…九時…明なるも來る十一月初旬頃より移轉の準備に著手する由尙聯隊の龍…田には步兵第八…

(一等八名)田村吉藏、大池忠助、…長島賢次郎、小坂順造、外人一名(二等四十一名)宮永熊次郎、上山顯藏、淸水又吉、西村勘之助、森原寬、玉浦清吉、米川正夫、田中彥太郎、尾山次六、竹內準藏、劉乙丙、東條正平、神中新三郎、中村洋平、水上榮三、高橋源次

▲十日午後九時四十五分釜山入港　さくら丸一二等客(一等八名)武內金平、一宮房次、岡初子、波多野喜作、外人四名(二等三十名)略



◆龍山步兵第七十八聯隊開城へ　早川第二…團長統裁の下に十五日から開城の平野に行はれる秋季對抗演習參加のため池田英太郎大佐麾下の龍山步兵第七十八聯隊は十…日午前七時營門出發、開城に向つた、同隊はいづれも士氣旺盛、途中三日間秋季野外教練を續行しつゝ臨津江附近の山河を跋涉十三日夜豫定の地點に占據し英氣を養ひ十五日より枝隊對抗演習に移るさうである

◎尊ぶべき金生の書

▲その眞筆は全く世間に無い

▽白月栖雲之塔碑に就て▽　鮎貝房之進

朝鮮の書聖と呼ばるゝ金生の筆蹟を伺ひ得る白月栖雲の碑銘は今まで杳として其の影を沒し幾星霜其の行衛を知られなかつたが今度忽然として人間に出て來たと言ふ事は

▽實に斯道の爲め　慶すべきである。由來此の白月栖雲の塔碑は石の高さ六尺六寸、廣さ三尺三寸、三十一行八十三字、徑八分の行書であるがもと慶尙北道の石南寺に有つたもので新羅神德王の六年、崔仁滾の撰文で釋端目が金生の書を蒐めて碑に刻せしものである。金生と云ふ人は前にも述べた通り朝鮮の書聖とも言はれるに拘はらず其筆蹟が世間に殘り其面影を伺はれるものは實に此碑面のみであり又慶尙道の慶州南山々麓に在りしと云へる

▽昌林寺の碑も　同じく金生の書であつたが其の碑は李朝の中期に亡くなつて仕舞つたと傳へられるが支那の趙子昂が此の拓本を見て賞

に王右軍の書も之に及ばずと賞揚措かなかつたと云ふのに見ても金生の書が如何に尊重されたかと言ふ事が窺はれる。白月栖雲の碑は中にも云つた通り金生の死後百年位經つてから釋端目が彼れの遺墨を蒐めて刻したものであるが世間或は該碑の書體が稍々硬勁な所から金生の書ではあるまいとの評をなすものも起つたが

▽之は石に刻した　結果幾分硬くなつた加減もあるだらう此の白月栖雲の塔が世間に名高くなつた爲め始終觀碑の客が多くなり中には高位大官の人も來り里民其の應接の煩を厭ひ竊かに土中に埋て仕舞つて其の在所を失つたが後ち或る村民の厩の中から發掘されて暫らく世に現はれて居たのである其後又々所在を失ひ現今に至つたので只だ拓本に依つてのみ僅かに金生の面目を窺ひ得たりし更らに其原碑の出現を見たのは實に此上なき參考品を得た譯である。一體金生と云ふ人は其姓氏を詳にせぬ位微賤の出身で三國史記等にも『金生父母微にして世系を知らず……』と出て居るが

▽新羅元聖時代の　人であつて八十以上の壽を保ち聖德、孝成、景德、惠恭、宣德、元聖の六朝間に跨りて生存せる人なるは三國史記等に依つて推察することが出來る又鄭東驥の叢永篇には『新羅金生之書、寺刹中往々黑簽金字經、(?)以爲金生書、多冒稱不可信、或言金生名玖、未知出何書……』と見ねて居る其れから又或本には『金生字は知瑞』と有るが此の知瑞を金生の字と見るのは恐らく崔仁滾の官名中知瑞書院とある

▽碑文を誤り解し　たものであらうと信ずる、兎角金生の肉書は皆無と云つても宜い程で坊間往々金生の書なりと稱し紙切れなど賣り歩く者もあるが皆信ずるに足らぬもの、其の眞筆は金生在世當時に於ても尙極めて稀れであつたらしく想像される、金生の筆蹟は今日では全く白月栖雲の塔碑と及び永和石刻に現はれて居るのみであつて此の白月栖雲の碑と永和石刻は金生の筆蹟を窺ふ世間に殘るたつた二つの重寶である而して今其の白月栖雲の原碑が見付かつたと言ふ事は考古資料として朝鮮の至寶を得たと謂はねばならぬ。

◎各地の暴風雨被害

又復東京、大阪府下に浸水

◇死傷者も尠なくない

△淀川堤防決潰　十日夜來の暴風雨にて巽に決潰せし新淀川堤防、又復破壞し大塚堤防は淀川が四尺增水せし爲め工事を中止し尙ほ高槻郡にも浸水しつゝあり北河內郡上島頭にては京阪電車新壓線切斷せる爲め死傷者を出したり阪神電鐵西の宮以東にも赤浸水しつゝあり(大阪特電)

▼京阪電車不通　暴風再度の襲來にて十一日京阪電鐵は復た不通と成れり(大阪特電)

△東京にも浸水　十一日朝又も豪雨の爲め東京市內四谷、淺草より千住、龜井戶方面に於て數百戶の浸水家屋を出せり(東京特電)

△貨物列車顚覆　東海道線の椿事　十日夜豪雨の爲め東海道線鷲津驛附近鐵道信號所の地盤緩み堤防破壞して線路を埋め下り關發東京行四百六號貨物列車は雨中の爲め之れを望見するを得ずして衝突顚覆し機關士及び車掌は負傷せり而して線路は十一日午後より開通せり(東京特電)

△女學生遭難　十日夜來岡山縣下に暴風雨襲來十一日朝矢掛女學校生徒十九名は打連れて通學の途中渡船顚覆し內三名溺死を遂げたり(岡山電報)

△列車立往生　十日午後五時院鐵九管局管內豐州線津久見、淺海井間(佐伯臼杵間)の線路一部暴風雨の爲め崩壞し折から同所に差しかゝりたる列車は一夜停車の已むを得ざるに至る

◎八丈島巨浪に呑る

人家倒壞し漁船五十四隻行方不明

八丈島にては本月一日午前二時高さ八十尺の巨浪襲來し全島を洗ひ各部落人家は悉く倒壞し漁船五十四隻行方不明となり五百餘名

慘狀目も當てられず

の漁夫は職を失ひ全島の蔬菜枯死し慘狀目も當てられず(東京特電)

附記＝右は一見舊聞に屬するも倒壞家屋の外甚だしく爲めに報告遲延したるに依るなるべし

◎仁川秋祭の賑ひ

歡樂の巷と化す

◇既報の如く十日十一日の兩日仁川神社秋季例祭執行せらる十日は午後八時より前夜祭あり十一日は午前中莊嚴なる公式祭典執行せられ府尹以下各官吏氏子總代祭典委員等所定の如く玉串拜禮を行ひ一般市民の參拜[illegible]千に及びたり

◇かくて午前十一時御輿渡御物々しき行列數町に亘り高張、金棒、獅子を先驅に神樂の音も神々しく宮町本通りを順次御旅所に渡輿、御旅所祭執行後直ちに順路を繞島町へ渡御午後六時過ぎ還幸あり

◆苑內は數種の餘興に人の海を成し擊劍柔道を初め相撲二輪加淨瑠璃手踊と沸くが如き賑ひ軒端に靡る國旗の影は紅白の幔幕に冴えて秋空一段の彩華あり此の中を練り歩るく仁川檢番の屋臺仕丁姿の幾十の藝妓は囃しの音も輕やかに料理屋組合の高張を先頭に立てゝ異彩を添へたるなど近年稀なる賑ひを呈せり(仁川)

◎災難　京城鍾路五丁目八十五番地荷車輓金致景(四九)は七日午前十一時頃淸酒四斗入一樽を積み荷車を輓きて鍾路四丁目六番地先を通行中自動車を避けんとして電車線路內に立入りたる際に進行し來れる龍山行百十八號電車と衝突し左胸部を打たれ共愛堂醫院にて手當を受けしが生命に異狀なし

◎米鼠　兵庫縣印南郡曾根町釜山埋立新町米穀精米所雇人門脇安次郎(三二)及び福島縣安積郡…村仲木孫右衞門(三五)兩名が倉庫より石入米約七叺を窃取したる一件は六日釜山地方法院にて懲役一箇年に處し二箇年間執行猶豫すべしとの判決ありたり

◎北漢山登攀　京畿道憲兵隊…及び京城憲兵分隊の有志者は來十一日の日曜日を利用し北漢山登攀を試む可しと

◎櫻井小學校の運動會　京城公立櫻井尋常小學校にては十三日午前九時より奬忠壇に於て秋季運動會を開催すべしと

♣一百圓賭で禁煙實行約束の事

◆◆◆阿部鮮銀局長と飯泉國庫課長◆◆◆

◇健康に　注意してゐるに掛けては鮮銀の阿部秀太郎君(營業局長)は素晴らしく忙しい事務を執つてゐる故か、早朝より切りに馬に乘つたり散歩したり大にらず、ドウモ身體が弱い、ドクトルから此頃結局禁煙の宣告を受ければならぬ哀れな立場に至つた。そこで阿部君は考へた、どうも酒は交際上止める譯には行かぬ、先づ以て飾酒はするにしても、但し禁煙は斷行しやう煙草を止めたつて宴會に行けぬ譯じやない料理家で少々手持無沙汰な

◇忍べば　好い、然しそれにしても伴侶があるべ、永年親んだ煙草と分れるんだ、巻き添への一人位ゐは見出してもよかろう—かうした出發點から、阿部君は其の卷き添へを物色した結果、同じく乘馬黨の勇士飯泉幹太君(國庫課長)に白羽の矢を立てた、阿部君は如何なる筋道を辿つて口說いたか、要するに其のニコ〳〵は飯泉君を禁煙の對手に引張り込んで

◇二人は　食堂上りの小閑に緊く約束した。所が口のわるい中村光吉君(庶務局長)ロ、の口約束ちや いけない。何かそこに條件をつけんちや』と橫から云ひ出しヤツサモツサの末、阿部飯泉兩君禁煙の約束は中村君調查局長の井內勇君其他の保證で立派に成立した。而して約束の主眼は兩君の內今後禁煙の

◇續行が　出來ず、一プクでもシガー一口でも喫つたら百圓の罰金を一人の方に出させねばならぬ、而して同時に保證人たる中村君井內君其他をも千代本か花月かで御馳走せねばならぬ事となつた、而して其の實行は七日よりと確定した。右に付飯泉君は語る『七日より禁煙實行となつたが、六日の夜から七日の午前一時まで澤山飲んだからね、煙草ものんだ、從つて七日の朝の顏を洗ふまでは六日の連續として

◇お名殘　に煙草をすひ續けたが洗面してから全く綺麗さつぱりしたよ、同僚がのんでゐると非常にすひたい、然しすうさ〳〵へラへて見ると飛んだ卷添へになつたものだ……仕方がないからドロップでも買つて食はう、仕方がない棒に高い煙草になるから我慢してゐる、いつかの序でに鮮銀には茶目も多いから

◇宴會に　兩君を强たが醉はせ酩酊首からでも煙草をすはせて百圓をはき出させ、御馳走にならうぢやないかと計企んでゐる者もあるとの事である

本紙連載小說
怒濤の月　劇
義士麵家男女合同團一行　此券御持參の方に限り各等廿錢宛割引
優待券　(一枚に付二人迄共通)(怒濤の月出演中通用)(普通入場料一等金五十錢二等金三十錢)
京城於壽座　京城日報社

◎京日案內

◎大正館　十一日より全部新狂言差替たるがその主なるものは左の如し、例のレッドサークルは本週を以て完結を告ぐるに至れり　▲特別大悲劇ダーリヤムソン嬢悲劇　▲新派悲劇通夜物語全三卷　▲最終篇レッドサークル　▲喜劇彥根騷動奴の岡平全四卷

◎黃金館　十二日より全部新狂言差替ふる筈なるがその主なる者は左の如し　▲實寫時事畫報　▲京劇活劇一揆の響き　▲悲劇女詩人全三卷　▲滑稽新馬鹿大將樂の卷全二卷　▲新劇片山護全二十三幕　▲悲劇ナシンデ事件

◎文樂一座　三日目語物　壽館開場中の露谷吉駒太夫十二日三日目の語り物左の如し　▲御祝儀安太夫(竹本住之助)　▲信仰記上かんやつ段(扇太夫)　▲八陣八ッ目段(浪本藏之助)　▲…(明石太夫八造)　▲…(錦太夫)　▲(播州…)　▲新版歌祭文お染久松野崎村段(古靱太夫吉駒ツレ光之助)

◎壽座　義士麵家一行にて本紙連載小說怒濤の月開演中なるが好評加々湧きく居れり

◎有樂館　十一日より差替たるが世界的大寫眞なる電話の響は…部新派寫眞…往復に入りて第一號…を揚らせしむるもの多しその主なる…は…▲人情劇…罪全二卷▲教育史劇永遠會我物語全七卷

日活會社特撰寫眞提供
泉鏡花先生名作　日活會社本年度新撮影
新派悲劇　通夜物語　三卷　芳村歩郎　上川尚相勤申候
日活専屬尾上松之助大車輪
舊彥根騷動劇　奴の岡平　四卷　藤本入道松之助相勤申候
約二ヶ月に亙り連續好評を博せし
最終編　赤輪　四卷
野村雅延得意の說明
▲特…別…番…外▼
實寫京阪間大洪水の慘害
十二日より
大正館

京城明治町一丁目　電話二四番
贊化病院
內科　小兒科　入院隨意
無料施療す　每日五名を限り
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏

京日案內
▲御照會の節は必ず…▲番外の部は…▲御申込は特に…

普通
◉店員入用　年齢二十歲位市內に確實なる保證人ある者本人來談　龍山鐵道構內　村田商店　700
◉貸家地所　寺長町に一ケ所　御問合は花園町八十七番地に　705
寫眞技手至急招聘　鍾路南浦井町　西島寫眞館　707
◉店員入用　年齡十六七歲數名至急入用希望者來談　南大門通…二丁目…番地　大橋大三郎　708
◉店員入用　拾五六歲より廿歲位迄確實なる要保證人　本町…宮本小間物洋品店
◉寫眞技師及見習生入用　龍山驛前　獨立軒寫眞館　998
◉醫員及び助手各一名入用　希望者は履歷書携帶來談あれ　仁川　小倉病院　701
うちみほねつぎ所　明治町フランス教會前　荒川仁壽堂　電話二五九五番　625

番外
◉店員入用　斯業の希望者十七八歲以上京龍山に保證人を要す　龍山元町二〇五番　金子衣服店　702
看護婦　大運行き希望者は本町浦尾旅館滯在中の柴田迄來談あり度し　99
◉鑛物定量分析　支那領事館前通り　京城明治町二丁目(電話二七七一番)　田部分析所　686
外交員二名入用　但京龍間に保證人を要す　南山町三丁目　電話三八七　坂洗濯店　704
カバン製造並修繕　京城明治町二丁目　電話一八二三番　古賀鞄製造所　706

新滋養劑
レグモン
肺結核慢性腎臟病糖尿病乳汁分泌不足熱性病並に其恢復期其他一般病中病後恢復期に對して最も有力なる榮養增進と强壯の效を奏する代表的國產滋養劑
本劑に關する醫家の信認は極めて高く。京都醫科大學教授森島醫學博士は本劑を有效滋養劑として推奬せられ日本赤十字社病院山下醫學士、但木、吉田、林諸醫學士は多數の衰弱患者に應用して何れも其結果良好なりしの成績を發表せられたり。
【容器】百瓦入　金壹圓貳拾錢　二百五十瓦入　金貳圓貳拾錢
全國著名藥店に販賣す。說明書無代進呈
一手販賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞

クセニナラズ　よくつうじる
健通丸
▼健通丸が必要なる譯▲
便祕は胃病を起し腦を犯し頭痛神經痛或は婦人病を重らす抔其害毒は甚だ恐るべきである然るに健通丸は此恐るべき便祕症に對し可驚効能有るが故である
各地藥店にあり　十錢以上
本舖　大阪市　鈴參天堂藥房

胃擴張及胃腸アトニーとは何か
村井弦齋先生の新發見
胃腸は全身の營養を掌る最も大切な機關であるが多くの人は此機關に必ず何かの故障が有ります元來人が食物を食ると胃は直に消化作用を起し其一分を吸收して殘餘は腸に送り腸は更に之を消化し吸收して殘の滓は肛門より排出するのですが飲食の度を過ごし胃腸の筋が弛緩し輸送する機能が衰へ食物が胃腸に停滯して便祕を來し或は胃腸を素通りして下痢を起し其に連て色々の症狀を呈する之が胃腸のアトニーと云ふ病氣で胃腸の筋が益々衰弱すると胃袋は擴つたまゝ緊らぬ樣になり食物が幾日分も胃に滯積して胸が膨れ腹が張り重苦しく心惡く噯氣を起し瓦斯が溜り腹が鳴り筋張り痛が起り食物が減じ又は反て進み其他種々の病苦を惹起す之が所謂胃擴張で昂今の進步した醫學でも胃液の分泌を旺にするか胃液を中和する外根治の道が無いのですが村井弦齋先生發見のタラコンは胃腸の筋を引締め消化作用を助け輸送機能を活潑にし食物が胃に停滯しません其證據は胃を洗滌すれば明に實見する事が出來ます又タラコンは一種峻烈なる刺戟は胃腸に生じた癌腫の如き異性物を溶解する故胃癌胃潰瘍其他如何なる重症にも驗效卓効ある事幾萬千の實驗者に依て證明せられて居ます昔は之を服すれば千を有すとも廿人譯を得事三百歲と稱し益氣補精の靈藥としたので無病の人も通用すれば老に耐ふるを得升
○藥價煎藥一週間分一圓二週間分一圓九十錢送料八錢郵稅外卅錢○散藥廿八回分五十錢六十回分一圓送料同上○發賣本舖東京市小石川區下富坂町廿　無量壽藥園　振替東京一〇〇二二

櫻御殿

大阪　霞の家主人

第卅九回　關ケ原合戰（十）

小早川秀秋が飽迄の約束に由つて、家康に内通した事は此の時であつた

治之丞は、同じ死ぬるにしても、おのれが使者になつて、大事の口上を傳へた秘密の約束が事實になつて現はれるのを見、それを冥途の土産にしたいと思つて居た

けれどそんな氣色は一向無い、宇喜多勢と福島勢との戰鬪は、追つ返しつ、激烈に行はれるが、松尾山の小早川勢は靜り返つて居る。さては金吾中納言殿、またた

たら、瞬く間に總崩れとなると思ふので、兩家の陣から催促の使者を二三度も送つて『早く／＼』と申し込む

正則は正則で、秀秋は何うして居るのか、秘密の約束を忘れたのか、此方から合圖をしても、一向に手答へがない。治之丞は何を約束して來たか、これが間違つては、内府公へ合す面が無いと、いら／＼氣を揉む

と、松尾山の旗さし物がゆら／＼と動き出した。正則は『さこそ』と笑を含む、三成一派は手を拍つて

心變りを爲されたのか、と心細く思ひながら死物狂ひに戰ひ狂ふ

時は段々移る。霧も次第に晴れて來る、戰爭は已に大事となる、秀秋と三成との約束は、三成が合戰の烽火を天滿山に擧げたら、それを合圖に秀秋が松尾山から撃ち下つて、蒐地に敵陣を突かうとの事であつた、三成はその時を圖つて居た

處が、今恰度好い機を見て取つて、天滿山に烽火を擧げたが、秀秋は素知らぬ顏をして、鐵砲一つ打ち出さぬ、三成は氣をいらつてすぐ傳令使を松尾山へ走らせる

これは三成ばかりでない、大谷吉繼も、小西行長も、合圖の烽火の上るのを見たら、松尾山の軍勢が直ちに攻撃の態度に出るだらうと思つて居たが、更に何の變化も無い。こゝで秀秋に裏切でもされ

歡び合ふ。處、それは束の間で、山を下つた小早川勢が、東の方を進み、福島勢の背後を衝くかと思ひの外、西北の方へ押し進んで大谷吉繼の本營へ鋒を向けた。その一番手を承はつて居る平岡稻葉の左右兩隊は、六百人の鐵砲組を折り敷いて、盛んに大谷隊の正面を射撃させた

『裏切ぢや／＼、金吾中納言裏切ぢや』

悲調を帶んだ聲が四方に傳はると、立つて居た脚の下の地が崩れるとも、頭の上の天が覆へるとも、これほどの驚きはあるまい。大阪方の大將、隊長、組頭、足輕、……小厮の末に至るまで、……顏の色を失つた

まだ合戰の序幕が開けたばかりであるのに、事實は秀秋の裏切から大詰を演じねばならぬ破目となつた。今までは天地の間に最も惡い恐しい者を江戸内大臣家康と思つて居たのが、急に金吾中納言秀秋の上に移つた、敵を打つ筈の鐵砲が味方を助けねばならなくなつた、今の今まで同志として扱つた、此方の盟主として戴いて居る先の太閤の正室大政所の養子たる人に向つて、槍さきを向けなければならなくなつた

その爲めに、大阪方は混亂の極に達した、鐵砲組は鐵砲を持つたまゝ、步卒は刄を提げたまゝ、暫しは爲す所も知らなかつた

『太閤殿下は、おのれの鴻業を江戸内大臣へ渡す爲めに、此の人を大政所の御養子には爲さらぬであつたらうを』と心ない小厮までが口惜しく罵る

大阪方の混亂は、家康の勝利に入る一步である、秀秋の先手が、大谷勢へ鐵砲を打ち込んだのを合圖に、家康は自ら采配を追取つて

『進め／＼、蒐れ／＼』と號令する、その下から鐵砲の響きが盛んに起る、關の聲がどつと擧がる

『御勝利なる』の聲が全軍に行き渡る、治之丞はこれを見て

『いよ／＼死ぬる時が來た』と歎んだ

洋料理 電氣すき燒 ハイカラ丼 おいしい事京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

朝鮮ホテル 衛戍病院 御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

秋の風
―五の日十の日會―

□ 浮碧樓
鬢祭の石段下りてゆうかともり秋の風

□ 華虹
血と土にボタ／＼落る秋風に立つ

□ 阿岐良
とをきには一輛の土ゆるる秋風

□ 鳥堂
青嶋の鄕土に怒からされ秋風

活巴會（第六回小集）

擔車の背に負ふ荊り草や蟷とふ
高梁の葉皿に蟷とふしきり
楊の下に藥壯鵡るいなごかな
虫とぶや家跡に畑らしきがあり
畑への途次友盜る蟷かな
涙かわく子の眼に虫とびにけり
山風の冷くなり虫飛びあそり
客し車の灯に道ありし虫見し
華行くや押ふが如く虫飛ぶ
買ひ草を盜る兵士や蟷こぶ
草の穂を抱いて虫落ろゝかな

泰民星 友同同田同同北同竹同同同

安州炭 京城西小門町 西崎商會 電話七二七番

□ 京城 本間素月

おほかたの若き女の心をばおたに知りて花發むしけかも
われの世にわれの命をほどくみて二十一年むにすごせり
臓腑室の中ほりに御のかほて…
今日の香姉子
なんといふ哀なさまぞ…
床ぬちに昧は日暮…

名刺 京城 太平堂 電話二七一二 振替京城三三七番

千す傘に虫さび來し夜寒哉
草を干す中なる蟷追ふ鬼かな
畑の秋に置く鶏の灯蟲飛ぶ
稻を積む畔なき碑殿に蟷をな
柴の手間の灯にさふ蟲の尖りかな
古下駄や虫こぶ付き流れけり
竹の子や飛付く蟲溶れけり
蹊そ一條に這ひ寄ら蟷かな
芦わけて餌付ける手や飛蟷
非遊せば懐に入る蟷かな
田歸りの笠とれば飛ぶ蟷かな
蟷飛ぶや土乾き畑の下午晴る丶
蟷飛ぶや野豆に風迫る夕
蟷飛び付く村倚約の新ひ秋
放校の道へ蟲に遊べる兒
画板据ゆ棚田でこら蟲靜かなり
權米に優れる村の蟲かな

容同容吝同同同吉同同陶同孤同半同杜同村同

堂 丘 縲 谷 村殿 花

新刊紹介

◉俳句懸賞募集　東京府大森町不入斗俳句研究會にては創立一周年記念の爲來十一月十日限り季題の何たるを問はず東都矢田挿雲氏の選なる乙の三座を選句に付する文を字入す同の選時計、蒔繪箱、折本、新寫短册、鈴鐘の由、今回は俳句以外の投吟なる歡迎し投吟規定は往復端書にて照會さるべしと

▲評論之評論（日本合同通信附錄）大阪新聞通信及び大阪中外通信兩社合同して日本合同通信社を起し中川三郎氏之が社長となり大阪東區南本町二丁目に本社を置く事となけたるが「評論之評論」は此の記念附錄にて名家の觀察說文を蒐錄せしものなり（大阪東區南本町二ノ十二日本合同通信社）

▲●●コロニー（九）二十錢東京巢鴨駒込三六六殖民タイム社

▲安東商業會議所月報（三七）安東縣商業會議所

▲京報一九二　京城京都大谷派本願寺々務所内其發行所

▲獨立公論（七ノ二）本誌を布哇ホノルヽに於ける唯一の邦語雜誌なり（一部十仙布哇ホノルヽ市マーチヤント街其社）

▲極東時報（三七）十八錢東京明石町三一二アルベール・メーボン氏寄贈

▲大道（三ノ一〇）議論創の模範雜誌なることを道の心得なるものゝ讀んで趣味ある記事多し二十錢東京小石川大塚坂下町一四番大道會本部

▲朝鮮公論（五ノ一〇）朝鮮政界の實力を舉げ來るは編者の勞大なりといふべし、奇觀的拓植館を東京に設立せよ（牧山社長）戰後經營と支那公問題（石田法學博士）其他を載せて高論卓說多く、趣味の方面に於ても材料を極めて豐富なり（二十五錢京城太平町二…）

▲部會及農村（三ノ一〇）十五錢東京麴町平河町五ノ三六帝國農會

▲鑛業新報（二五ノ二九五）十八錢東京日本橋區箔屋町一四其社

▲活動寫眞雜誌（三ノ一一）活動寫眞の最も優秀なるものなり最近封切寫眞の面白きもの十六種を讀むことは恰も活動寫眞を觀るが如き心地す活動界の記事頗る豐富なり（二十八錢東京赤阪一ツ木丁其社）

▲週（創刊號）最の利きたる週刊新聞にして殊に警世の垢拔のしたる文章は讀者に快樂を與ふるところ大ならん（十錢東京神田錦町三ノ四週報社）

入院隨意（診察夜九時迄）皮膚科 徽毒 皮膚病 淋病 膀胱病 生殖器病 機能障礙 京城明治町二丁目（元同仁醫院跡） 佐藤醫院（電話一一七三番） 日曜祭日午後二時迄

醤油 ヨほまれ 味噌 遠藤商店 電話九八二番

婦人病　血の道ヒステリーは　腦神經衰弱である

——御婦人方を幸福な——御生活に避らせ度い

▲婦人に多い病　婦人病（ヒステリー血の道）と云つても其源を研めずして直に其手當を施すのは古電柱にペンキを塗換て新しくなつたと喜ぶ樣な話です。今流行る多くの婦人病の大牢は皆神經衰弱（ヒステリー）即ち氣苦勞の疲から起るのでムいます。御婦人は一般に内氣で我慢强い性分から少し位氣分が惡くとも頭痛がしても隱忍んで僅の事に腦を使ひ過て神經を痛たりする結果、男子に比して腦神經系統を損ひ易き境遇にありますから自然憂鬱病に侵され終には治り難い婦人病即ちヒステリー（血の道）に侵されて了ひます

▲血の道と腦病　氣が鬱陶する胸が容ない頭痛頭重耳鳴眼暈がする事もあつて手足が不自由を感じたり心が焦々して矢鱈に腹が立ち又悲さを感ずると云ふ混雜の感情が入亂てヒステリーだとか血の道だとか云て居られるのは即ち腦神經の病氣なのであります醫學上

▲大は神經衰弱なので治療法も其通に行ふ必要があるから岡田醫學博士や其他の諸大家が之ならばヒステリー血の道（男子の腦神經衰弱）を治療するに最も適良の藥物也と證明せられた當時評

▲日本人に適する植物性藥で文明式に理的に和藥洋法を折衷して調製した又とない良藥で無く專門の學者が十數年苦心の結果能く新に發見せられた良藥ですから學問上から見ても實驗から云ても不思議に効く藥だと云事になりますから安心して御利用なすつて御存じです

▲先づ一家幸福の源は婦人の健康から得られます頭痛が苦しく重く氣が欝いで腹が脹れ易い方なる者はすぐレーベンを御試用遊ばせ心地快く便通と共に日毎に頭が晴々して胸苦かつたり氣分惡かつたりするのも漸時癒つて參ります

▲治療書二冊を無代進呈　常持には殊更宜く利く直に御服用あれ醫學士の書れた解り易くて爲になる腦神經衰弱ヒステリー療法と精神療法の二冊を無代で差上ます故東京市日本橋區蠣殼町廿二弘濟院中井定太郎宛ハガキで申込下さい直送ります。因にレーベンの藥價は五十錢、八十五錢、一圓六十錢、二圓五十錢等で信用ある各地藥店にあります。

東京帝國大學農科 三宅博士發見
蛋白 澱粉 脂肪 消化劑
プロテアーゼ

是迄の消化劑は多く澱粉質にのみ有効にして蛋白質に對しては未だ理想的のものなかりしが今回帝國大學の三宅博士は蛋白質に對し最も强度の消化力を有するプロテアーゼを發見せり

本品は一種のエンチームにして蛋白質の消化力現代に於て第一位なるが上に澱粉質に對しても其消化力諸種のヂアスターゼに優り尚脂肪分解作用をも兼有す、斯く質白、澱粉、脂肪の三種に對し完全なる消化力を具備する大發明は實に本品を以て第一となす

粉末と錠劑の二種あり

前記の事實は内務省東京衛生試驗所の報告に見るも明なり
胃腸障害の爲に常にヂヤスターゼ其他の消化劑を服用せられつゝある人は速に本劑を試み其偉効を知れ

定價	
粉末 二五瓦 一〇瓦	一圓四十錢 六十五錢
錠劑 百錠 卅錠	一圓 三十錢

東京京橋南傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電話京橋 一七八五番
振替東京 二〇五二三番

△各地藥店及特約店にあり▽

消化と毒けし 仁丹

徳用で輕便な 金言容器 仁丹十五錢包添附

金言 治國の道は必らず先づ民を富ます（管子）

淋病新藥 ゴノチール

◉極メテ合理的ニ製セラレ彼ノ危險ナル洗滌等ノ請療法ヲ要セズ單ニ本劑ノ内服ニ依リ淋病、膀胱、尿道炎、等ノ泌尿器疾患ニ對シ容易ク治療ノ目的ヲ達シ得ル最モ卓越セル新劑ナリ

◉各地有名藥店ニアリ　説明書ハ現品ニ添附ス

大阪市道修町 發賣元 藥品問屋 西村藥林社 電話本局二四九一番 振替大阪七五九〇

一容器 三十球入 六十球入 百球入 病院用 五百球入 千球入

最新刊

東亞道中膝栗毛輪講　三田村鳶魚　九五
ビスマルク　蜷川新　二、〇〇
國民と德史編　河野省三　一、三〇
應用最新化學集成 下　野山 水邊　四、〇〇
木工機に鐵筋コンクリート構築と作業法　岩崎鍛壁　一、〇〇
式經營商店管理法　吉川宗雄　一、六〇
大道河公著　定價二圓

露西亞に遊びて

エマアソン論文撰集　戶川秋骨　一、三〇
キングリーヤ ロムバード　一、二〇
蕪村夢物語 春の部　木村架空　一、三〇
春影小品集 春影遺稿　一、〇〇
西洋草花の作り方　大矢好治　一、二〇
縮刷世渡りの道　新渡戶稲造　一、二〇
丫夫人の死　長田幹彥　八五

大阪屋號書店 京城本町一丁目 振替〔六八一番 京城二四五〕

寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 寫眞熱練せる技術を以て殊し時間の短縮に奉じ可成懇切を旨とし御需に可應候 京城日報社寫眞製版部

百圓 進呈
りん病 ばい毒

淋病藥主劑は治淋劑とし梅毒藥主劑は驅梅内服劑として醫藥學上最有効と確定し
帝國醫科大學病院

諸藥 淋二圓 特三圓 梅毒 合三圓 頓二圓 並一圓

等に於て皆據配劑せる高著藥あることを保証す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分折料として百圓進呈

▽あらゆる治療を試みられたる方は角一度來談あれ

にせ物あり 大阪有田 取扱へ

京城南大門外停車場通 大ドラッグ商會鮮京支部

詳細拾月十武日本紙御覽 釜山大廳町三丁目 大邱ラッグ支部

他の藥店に販賣を不許

大阪三休橋 ドラッグ 商會

二店舗ノ他 販賣ヲ許サズ

京城 南大門外 停車場通 ドラッグ 商會

妻嘉枝葬送の際は御鄭重に御會葬被成下難有奉謹謝候敬具

大正六年十月十一日

北原利男
親戚一同

三ツ菱 阿波 共同汽船 仁川出帆

芝罘、大連行 第廿共同丸 十月十日午後入港 十月十二日後十時出帆

朝鮮鐵道連絡にて芝罘各地、大連にて南滿洲鐵道貨物取扱 本社 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）

仁川代理店 野口商會 春日町（電話二四四七番）

元山代理店 田口回漕店 南大門（電話二六八・二〇七）

京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船 出帆

本社 電話番號一九五二・二三三番
京城市大門通前 京城取扱店 松原運送店 電話一六番

◎元山より釜山各地經由雄基行
京畿丸 十月十六日
咸鏡丸 十月三十日
平壤丸 十月廿五日
忠清丸 十月十九日
但し×印あるは江原道寄港せず 釜山發

◎元山より浦潮行
京城丸 十月十三日
鏡城丸 十月廿一日
穩城丸 十月十七日 元山發

◎浦潮行（元山より城津清津經由）
平安丸 十月 日 元山發

◎元山長箭行
咸鏡丸 十月廿五日
鏡城丸 十月廿九日
穩城丸 十月二十日 元山發

◎釜山元山間
慶尚丸 十月八日決定 元山發

◎濟州島行濟州項及各地經由
昌德丸 十月十五日 釜山發

◎浦項行（下生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸 毎日 釜山發
襄陽丸 毎日 釜山發

◎濟州島行長承浦濟及巨文島經由
昌平丸 十月十三日 釜山發

◎麗水行（各地經由）
統營丸 巨濟丸 毎日 釜山發

◎木浦、麗水、三日目毎に木浦發（釜山行）
天丸

◎木浦より濟州島行各島經由
西歸浦行 慶興丸、公州丸 十月十八日 十月十七日 木浦發

◎多島海各島行
慶興丸 十月十三日 木浦發

◎晉州行（其他各地經由）
晉州丸 十月十八日
豐水丸 十月廿二日 仁川發

◎鎭南浦行（海州其他各地經由）
宗廟丸 十月十六日 仁川發

◎海州行（江華島各地經由）
全州丸 毎日 仁川發

◎濟島行（芝罘、大連經由）
江原丸 十月十日 仁川發

日本郵船 仁川出帆

大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸 十月三十日 正午出
高砂丸 十一月九日
三河丸 十月十九日

仁川海岸町一丁目 代理店 堀 力 回 漕 部

尼崎汽船 仁川出帆

釜山、木浦、下關、神戸行
大有丸 十月十六日後四時出
神代丸 十月廿三日後四時出
君が代丸 十月廿五日後四時出

▲印大阪直行 仁川海岸通二丁目 五十嵐 回 漕 部

大阪商船 仁川出帆

◎外航船舶及商港航路（汽船は神戸經由）に乘船の時は五分引を以て運賃を割引す

◉神戸、大阪行
信ノ川丸 十月 日 後二時出
×漳州丸 十月 日

◉南浦、神戸、大阪行
△汕頭丸 十月廿二日 後二時出
×漳州丸 十月十五日

◉木浦、釜山、門司、馬關、神戸、長崎行
×安東丸 十月十三日 後二時出
×安東丸 十月廿九日

◉南浦行
△汕頭丸 十月十五日 後二時出
×漳州丸

◉鎭南浦、大連行
安東丸 十一月十一日 後二時出
安東丸 十月廿四日

◉西湖津經由城津清津行（元山出）
宮島丸 十月廿七日 後二時出

◉清津行（元山出帆）
安平丸 十月二十日 後二時出

◉上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸 十月三十日 後四時出
落陸丸 十月十四日 前六時出

御注意 連絡船に付き出帆時間の變更あり御問合の上御乘船ありたし
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番、三〇九番 京城切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番 切符發賣所 仁川京城 開 業 館 電話二六〇番

大阪株式　同 新株　三二三 五〇
同 東株　二〇四 九〇
大阪商船　一三三 〇〇
同 鐘紡　二一三 四〇

▲依然保合　大阪株式は前日來の保合を續け九圓二十錢と五十錢の間に往來して居る…

▲仁川現物界　地場玄米三十圓九十錢より…

十一日の十二月限　平一節　十七九二十錢　十九圓三十五錢

天氣　▲は晴れ一時曇り

○日出 六時十八分
○日沒 五時…
仁川滿潮 午前… 午後…
釜山滿潮 午前… 午後…